

# パーソナルミニディスク システム

---

## 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



**警告**

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、  
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

エムディオ  
**MDIO**  
MD-CD Integrated System

COMPACT  
**disc**  
DIGITAL AUDIO  
TEXT

## ZS-M50



# 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

## 安全のための注意事項を守る

4～7ページ の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

## 定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

## 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口へ修理をご依頼ください。

## 万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、  
煙が出たら



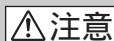
- ① 電源を切る
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口へ修理を依頼する

## 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

## 注意を促す記号



火災



感電

## 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止



ぬれ手禁止

## 行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く

# 目次

△警告・△注意 .....	4
---------------	---

## ここだけ読んでも使えます

CDを聞く .....	8
CDをまるごと録音する(シンクロ録音) .....	10
MDを聞く .....	12
ラジオを聞く .....	14

### CD・MD再生

表示窓の見かた .....	16
CDテキストの情報を確認する .....	18
聞きたい曲を選ぶ (ダイレクト選曲/サーチ) .....	19
繰り返し聞く(リピート再生) .....	20
聞きたい曲を好きな順に聞く (プログラム再生) .....	21
順不同に聞く(シャッフル再生) .....	23

### ラジオ

放送局を記憶させる .....	24
記憶させた放送局を聞く (プリセット選局) .....	28

### 録音

CDの再生中の曲だけを録音する (REC IT録音) .....	29
CDから好きな曲を選んで録音する (プログラムシンクロ録音) .....	30
ラジオ・CDを録音する .....	32
録音済みのMDに録音する .....	34

### MD編集

編集の前にお読みください .....	35
曲を消す(イレース機能) .....	36
曲を分ける(ディバイド機能) .....	38
曲をつなぐ(コンバイン機能) .....	39
曲を移動する(ムーブ機能) .....	40
ディスク名や曲名を付ける (ネーム機能) .....	41

### タイマー

時計を合わせる .....	45
音楽で目覚める .....	46
留守中にラジオを録音する .....	48
音楽を聞きながら眠る (スリープ機能) .....	50

### 接続と準備

電源やアンテナをつなぐ .....	51
他の機器をつないで使う .....	54
好みの音質で聞く .....	55

### その他

使用上のご注意 .....	56
故障かな?と思ったら .....	58
エラーメッセージ一覧 .....	61
MDのシステム上の制約について .....	62
保証書とアフターサービス .....	64
主な仕様 .....	64
各部のなまえ .....	66
ミニディスクとは .....	70
索引 .....	71



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

### 内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。  
万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



### 電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口へ交換をご依頼ください。



### 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。



### 海外では使用しない

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



雷が鳴りだしたら、アンテナや電源プラグに触れない  
感電の原因となります。ただし製品を屋外で使用中に、遠くで雷が鳴りだしたときは、落雷を避けるため、すぐにロッドアンテナをたたんで使用を中止してください。



ガス管にアース線やアンテナをつながない  
火災や爆発の原因となります。



下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

### 内部を開けない

感電の原因となることがあります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止



### ぬれた手で電源プラグをさわらない

感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

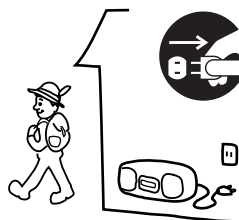


### 移動させるとき、長時間使わないときは、

#### 電源プラグを抜く

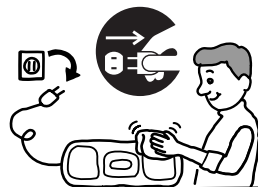
電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。



### お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



### 安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度もじゅうぶんに確認してください。



禁止





# 注意

つづき

## 通風孔をふさがない

布をかけたリ、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさがないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。



---

## 大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くとときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



---

## 幼児の手の届かない場所に置く

CDトレイなどに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。

---

## 円形ディスク以外は使用しない

円形以外の特殊な形状(星型、ハート型など)をしたディスクを使用すると、高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となることがあります。

---

# 電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。



- 火の中に入れてない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 乾電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。
- +と-の向きを正しく入れる。



- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

## この取扱説明書について

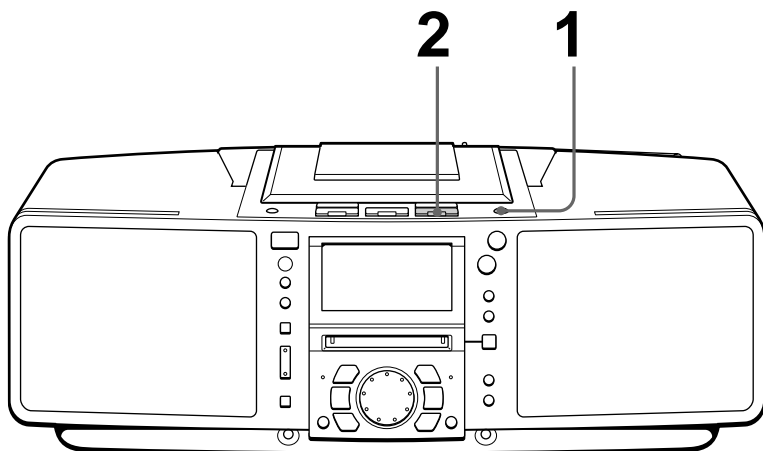
本書では、本体での操作を中心に説明しています。リモコンでの操作のしかたは、本体と違う場合に明記してあります。

「各部のなまえ」(66～69ページ)も併せてご覧ください。

## 録音についてのご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- パ・ソナルミニディスクシステムの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用はできません。なお、この商品の価格には、著作権上の定めにより、私的録音保証金が含まれております。  
(お問い合わせ先 社 私的録音保証金管理協会 Tel.03-5353-0336)

# CDを聞く



接続と準備→「電源やアンテナをつなぐ」(51～53ページ)をご覧ください。

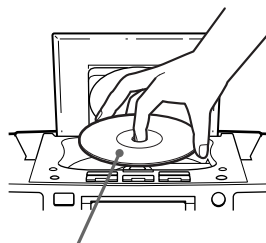
## 1

CD OPEN/CLOSE



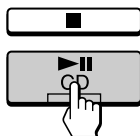
オープン クローズ  
▲ CD OPEN/CLOSEボ  
タンを押してCDぶたを開け、  
CDを入れる。

ボタンを押すと電源が入り、CDぶた  
が自動的に開きます。



文字のある面を上

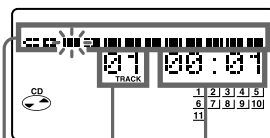
## 2



CDの▶||ボタンを押す。  
(リモコンではCDの▶ボ  
タンを押す。)

CDぶたが閉まり、再生が始まり  
ます。

本体表示窓



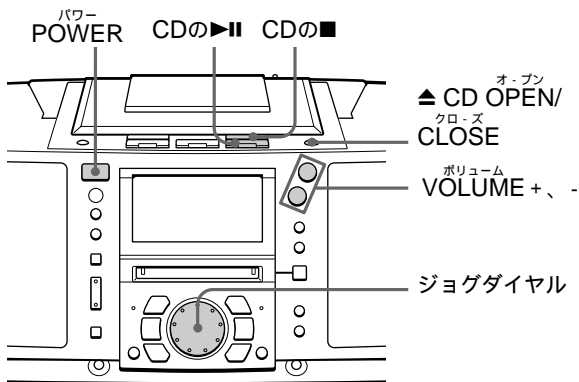
ポジションポインター  
(再生位置を示す)

曲番

曲の再生  
経過時間



## その他の操作



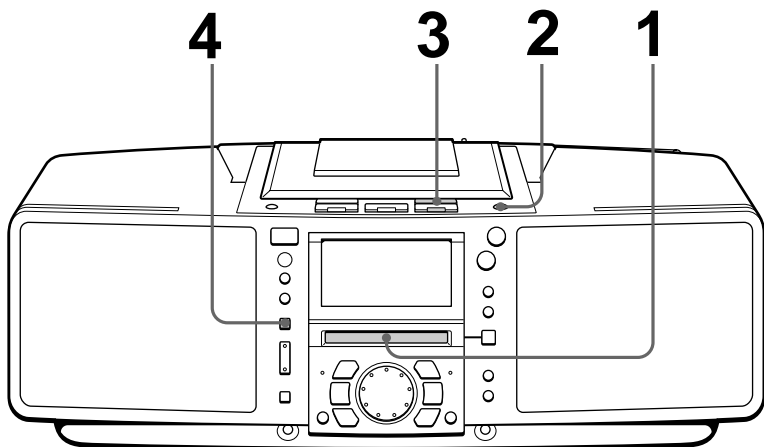
### ちょっと一言

- 一度CDを入れておけば、次にCDを聞くときはCDの▶|| ボタンを押すだけで電源が入り、再生を始めることができます。
- ポジションインター CDの再生位置(CDが今どの部分を再生しているか)を表示窓で確認できます。
- CDふた開閉時には、ふたに指などはさまないように注意してください。万一はさんだときは、もう一度 ▲ CD OPEN/CLOSE ボタンを押してふたを開けてください。

こんなときは	押すボタン/操作
音量を調節する	ボリューム VOLUME +、- (VOL +、-)
再生を止める	CDの■
再生中に一時停止する	CDの▶   (CDの  ) もう一度押すと再生が始まる。
曲の頭に戻す 前の曲へ戻す	ジョグダイヤルを左へ回す。 (◀◀を押す。)
次の曲へ進む	ジョグダイヤルを右へ回す。 (▶▶を押す。)
CDを取り出す	オープン クローズ ▲ CD OPEN/CLOSE
電源を入/切する	パワー POWER

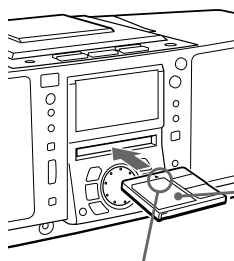
( )内はリモコンのボタンです。

# CDをまるごと録音する(シンクロ録音)



接続と準備→「電源やアンテナをつなぐ」(51～53ページ)をご覧ください。

1



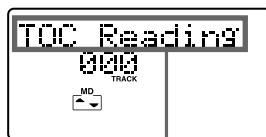
**録音用MDを入れる。**

自動的に電源が入ります。

ラベル面を上

矢印の向きに差し込む

本体表示窓



「TOC Reading」表示後、ディスク名が記録されているときはディスク名が出る

2

CD OPEN/CLOSE

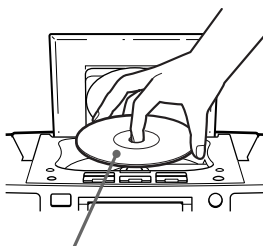


オープン クローズ

**▲ CD OPEN/CLOSEボタンを押してCDを入れる。**

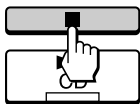
ボタンを押すとCDぶたが自動的に開きます。

再び▲ CD OPEN/CLOSEボタンを押してCDぶたを閉めます。

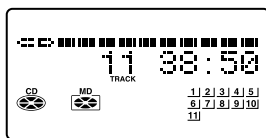


文字のある面を上

### 3



CDの■ボタンを押す。



### 4

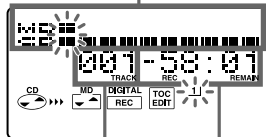
SYNCHRO REC  
CD ▶ MD



シンクロ レコーディング  
**SYNCHRO REC**  
CD ▶ MDボタンを押す。

自動的に録音が始まります。  
すでに録音してあるMDを入れたときは、録音部分の終わりから録音します。


ポジションポインター  
(CDの再生、MDの録音位置)



MDの曲番 MDの録音可能時間

ここだけ読んで使えます

#### ご注意

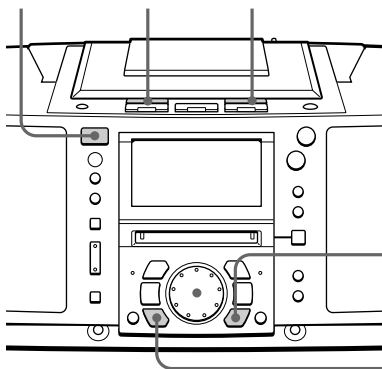
- 
 録音を止めたあと、「TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コンセントを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。録音されないことがあります。
- シンクロ録音の場合、録音の一時停止などはできません。

#### ちょっと一言

- 音量や音質を調節しても録音される音には影響ありません。ただし、音量が大きすぎると、音とびの原因となることがありますのでご注意ください。
- 録音済みのMDの内容を消して上書き録音するには、34ページをご覧ください。
- 時計を合わせてであると、録音日時が自動的に記録されます。(45ページ)
- 録音中にディスク名、曲名を付けることができます。41～42ページをご覧ください。

#### その他の操作

パワー MDの■ CDの■



イエス  
YES  
エンター  
ENTER

ノー  
NO  
キャンセル  
CANCEL

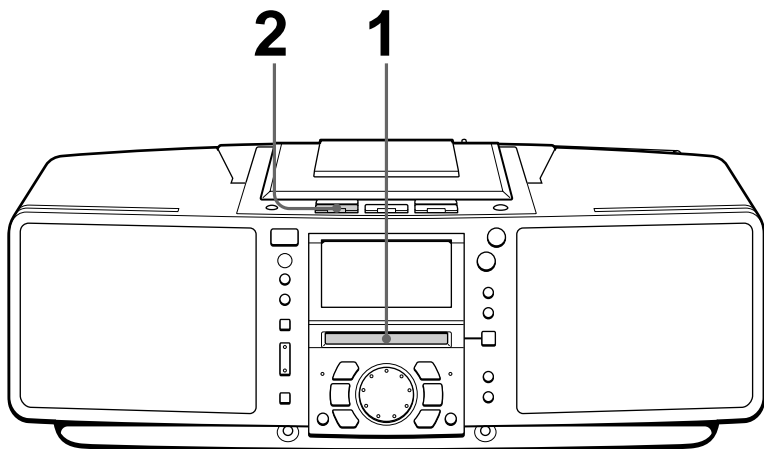
こんなときは	押すボタン
録音を止める	MDの■またはCDの■
電源を入/切する	パワー POWER

「CD>MD OK?」と足りない時間が交互に表示されたらMDの録音できる残り時間が足りません。

CDを最後まで録音できなくてもよいときは、YES・ENTERボタンを押します。録音をやめるときは、NO・CANCELボタンを押します。

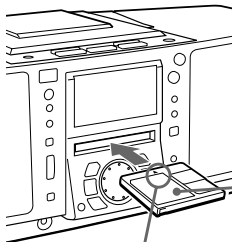
その他のメッセージが表示されたときは61ページをご覧ください。

# MDを聞く



接続と準備→「電源やアンテナをつなぐ」(51～53ページ)をご覧ください。

1

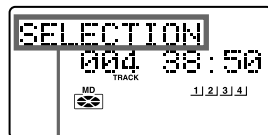


矢印の向きに差し込む

**MDを入れる。**

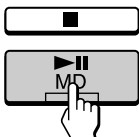
自動的に電源が入ります。

本体表示窓



「TOC Reading」表示後、ディスク名が記録されているとき出る

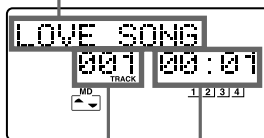
2



**MDの▶||ボタンを押す。**

再生が始まります。

曲名が記録されているとき出る

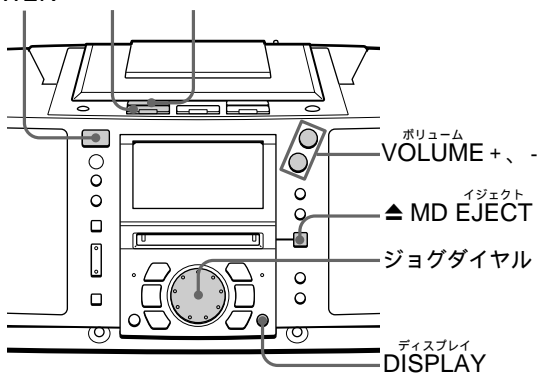


曲番

曲の再生  
経過時間

## その他の操作

POWER MDの▶|| MDの■



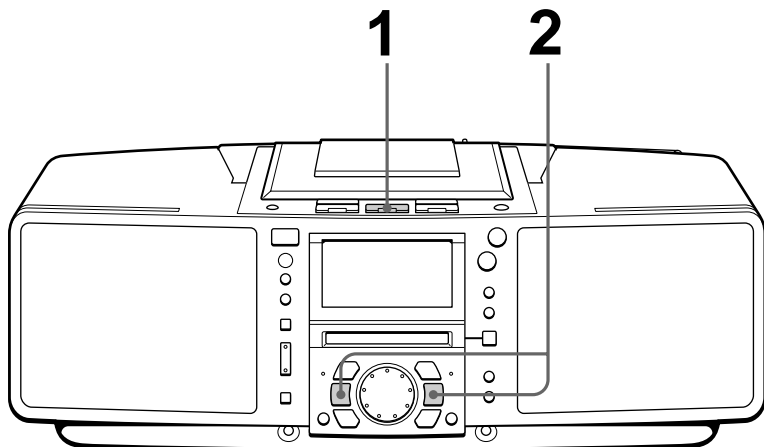
### ちょっと一言

一度MDを入れておけば、次にMDを聞くときはMDの▶||ボタンを押すだけで電源が入り、再生を始めることができます。

こんなときは	押すボタン/操作
音量を調節する	ボリューム VOLUME +、 - (VOL +、 -)
再生を止める	MDの■
再生中に一時停止する	MDの▶   (MDの  ) もう一度押すと再生が始まる。
曲の頭に戻す 前の曲へ戻す	ジョグダイヤルを左へ回す。 (◀◀を押す。)
次の曲へ進む	ジョグダイヤルを右へ回す。 (▶▶を押す。)
MDを取り出す	▲ MD EJECT イジェクト
電源を入/切する	POWER パワー
表示窓で現在の 再生位置 (ポジション ポインター) を見る	ディスプレイ DISPLAY

( )内はリモコンのボタンです。

# ラジオを聞く



接続と準備→「電源やアンテナをつなぐ」(51～53ページ)をご覧ください。

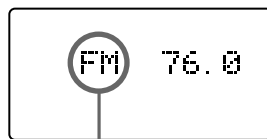
1



バンド

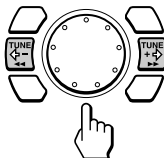
**BAND**ボタンを押して、**FM** 本体表示窓  
か**AM**を選ぶ。

ボタンを押すと自動的に電源が入り、  
「FM」か「AM」が出ます。切り換え  
るときは、もう一度押します。



「FM」か「AM」が出る

2

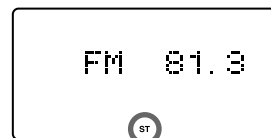


チューン

チューン

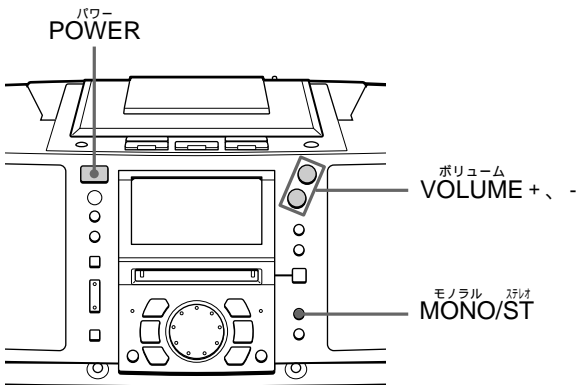
**TUNE -** または **TUNE +**  
ボタンを押したままにし、表  
示窓の数字が動き始めたら指  
を離す。

放送局を自動的に受信して止まりま  
す。受信できなかったときは、  
TUNE - または TUNE + ボタンを繰り返し  
押し、聞きたい局の周波数に合  
わせます。



FMステレオ受信のとき  
出る

## その他の操作



こんなときは	押すボタン
音量を調節する	ボリューム VOLUME +、- (VOL +、-)
電源を入/切する	パワー POWER

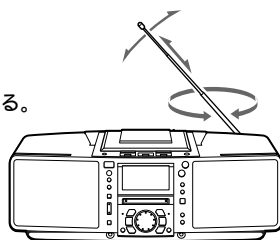
( )内はリモコンのボタンです。

### ちょっと一言

- ステレオ放送の雑音が多いときは、MONO/STボタン(リモコンではMODEボタン)を押して、表示窓に「Mono」を選択します。音はモノラルになります。
- 一度放送局を受信すれば、次にラジオを聞くときはBANDボタンを押すだけで電源が入り、ラジオを聞くことができます。

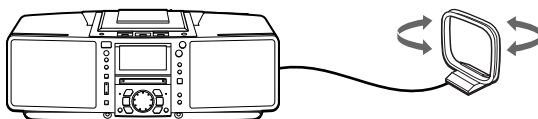
受信状態をよくするには

FM(TV1~3ch)放送のとき  
アンテナを伸ばし、向きを変える。



AM放送のとき

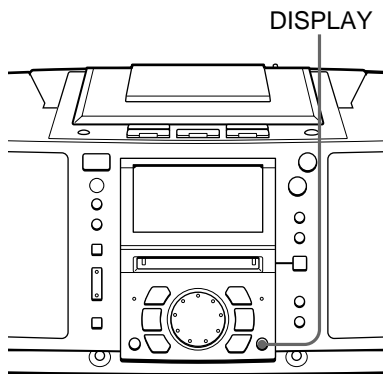
AMループアンテナを本体からできるだけ離し、向きを変える。



それでも受信状態がよくなる場合は、屋外アンテナを接続してください。(53ページ参照)

# 表示窓の見かた

表示窓で、CDまたはMDの全曲数や全再生時間を調べることができます。

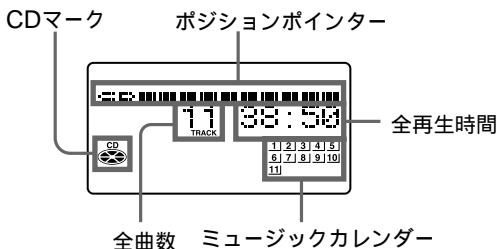


## ちょっと一言

CDテキスト対応のCDの場合、ディスク名、アーティスト名なども表示されます(18ページ)。

### CDの停止中

次の表示が出ます。  
全曲数と全再生時間を調べることができます。



21曲以上入っているCDでは、ミュージックカレンダーに「OVER 20」が表示されます。

### CDの再生中

再生中の曲番と曲の再生経過時間が表示されます。再生し終わった曲番は、ミュージックカレンダーから消えていきます。

残り再生時間を調べるには  
DISPLAYボタンを押します。

表示	押す回数
再生中の曲番と曲の残り時間	1回
残りの曲数と残り時間	2回
再生中の曲番と曲の再生経過時間(通常表示)	3回

## ご注意

リピート再生(20ページ)、プログラム再生(21ページ)、シャッフル再生(23ページ)のときは、残りの曲数と残り時間は表示されません。



ちょっと一言

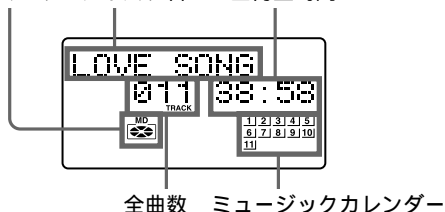
ディスク名、曲名が表示されるのは、MDにディスク名、曲名が記録されているときのみです。記録されていないときは何も表示されません。

## MDの停止中

次の表示が出ます。

全曲数と全再生時間を調べることができます。

MDマーク ディスク名 全再生時間



21曲以上入っているMDでは、ミュージックカレンダーに「OVER 20」が表示されます。

録音用MDの録音可能時間を調べるには

DISPLAYボタンを押します。

ポジションポインターも表示されます。

## MDの再生中

再生中の曲番と曲の再生経過時間、および曲名が表示されます。再生し終わった曲番は、ミュージックカレンダーから消えていきます。

残り再生時間、録音日時などを調べるには

DISPLAYボタンを押します。

表示	押す回数
再生中の曲番と曲の残り時間、および ポジションポインター	1回
残りの曲数と残り再生時間、および ディスク名	2回
録音した日時*	3回
再生中の曲番と曲の再生経過時間、 および曲名(通常表示)	4回

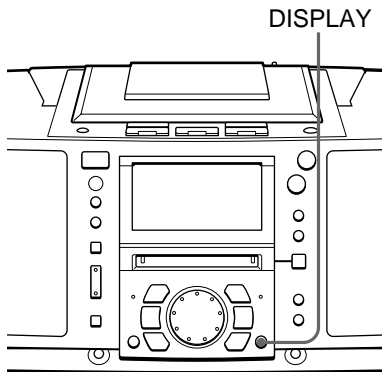
\* 時計を合わせておくと、録音したとき、自動的に録音日時が記録されます(45ページ)

ご注意


リピート再生(20ページ)、プログラム再生(21ページ)、シャッフル再生(23ページ)のときは、残りの曲数と残り時間は表示されません。

# CDテキストの 情報を確認する

CDテキスト(CDに記録されているディスク名、アーティスト名、曲名などの情報)が記録されているCDを聞くと、表示窓にディスク名、アーティスト名、曲名などが表示されます。



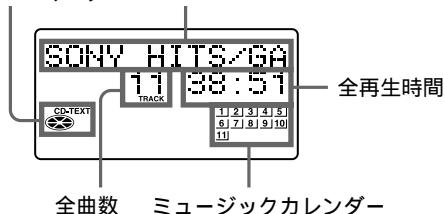
## ちょっと一言

- 
 CDテキスト対応のCDは、CDやCDケースにCDテキストのマークが付いています。
- 本機で表示できるCDテキストは、英数字のみです。日本語は表示されません。日本語のみが記録されているCDテキスト対応のCDを聞くと、表示窓に「CD-TEXT」が表示されますが、テキスト情報は表示されません。
- 本機はCDテキストを合計で1,500文字までしか表示できません。長いディスク名や曲名は途中で切れてしまうことがあります。

## CDの停止中

次の表示が出ます。  
全曲数と全再生時間を調べることができます。

CD-TEXTマーク ディスク名/アーティスト名\*



\* DISPLAYボタンを押すと、ポジションポインターが表示されます。もう一度押すと、最初の表示に戻ります。

## CDの再生中

再生中の曲名と曲番、再生経過時間が表示されます。

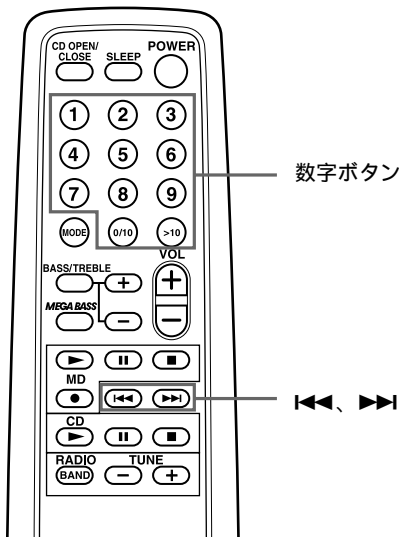
さらにDISPLAYボタンを押すと、表示は次のようになります。

表示	押す回数
ポジションポインター、再生中の曲番と曲の残り時間	1回
ディスク名/アーティスト名、残りの曲数と残り時間	2回
再生中の曲名と曲番、再生経過時間(通常表示)	3回

# 聞きたい曲を 選ぶ

(ダイレクト選曲/サーチ)

CDまたはMDの聞きたい曲の再生を、リモコンの数字ボタンですぐに始めることができます。また、◀◀、▶▶ボタンで曲の中の聞きたい部分を探すこともできます。



## ご注意

ダイレクト選曲の場合、表示窓に「REP PGM」「REP SHUF」「PGM」「SHUF」が出ていたら、■ボタンを押して消します。

## ちょっと一言

- 10曲目以降の曲を選ぶには、>10ボタンを押したあと10の位の数、1の位の数という順に数字ボタン(1~0)を押します。  
例：23曲目を選ぶときは、>10 2 3の順に押します。  
10曲目は0/10ボタンで選ぶこともできます。
- MDで100曲目以降の曲を選ぶには、>10ボタンを2回押したあと100の位の数、10の位の数、1の位の数という順に数字ボタンを押します。

## 選びかた/探しかた

## 操作のしかた

曲番で直接選ぶ  
(ダイレクト選曲)

聞きたい曲番の数字ボタンを押す。

聞きながら探す  
(サーチ)

再生中に◀◀、▶▶ボタンを押したままにする。  
指を離すと、そこから再生されます。  
(本体では◀◀または▶▶ボタンを使います。)

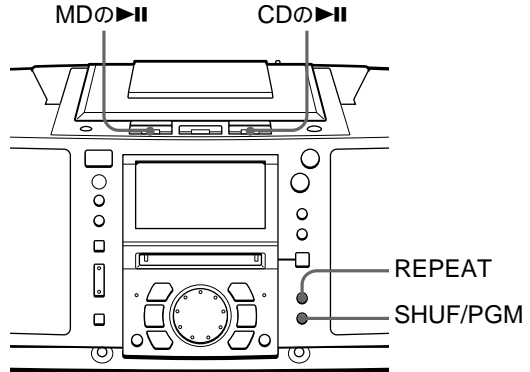
表示窓の再生時間  
を見ながら探す  
(高速サーチ)

一時停止中に◀◀、▶▶ボタンを押したままにする。  
指を離すと、その位置で一時停止になります。  
(本体では◀◀または▶▶ボタンを使います。)

# 繰り返し聞く

(リピート再生)

CDまたはMDを1曲だけ、または全曲を繰り返し聞くことができます。シャッフル演奏やプログラム演奏を繰り返すこともできます。



リモコンでは

- 再生中にMODEボタンを繰り返し押しして「REP 1」または「REP ALL」を選びます。再生中は「REP SHUF」や「PGM REP」を選ぶことはできません。
- 停止中でもリピート再生にすることができます。MODEボタンを繰り返し押しして「REP 1」, 「REP ALL」, 「REP SHUF」, 「REP PGM」を選びます。そのあとCDまたはMDを再生します。

リピートの種類	押すボタン
1曲だけ繰り返す	1 繰り返したい曲を再生する。 2 REPEATボタンを繰り返し押しして「REP 1」を表示させる。
全曲を繰り返す	1 再生を始める。 2 REPEATボタンを繰り返し押しして「REP ALL」を表示させる。
順不同に繰り返す	1 シャッフル再生を始める。 (23ページ参照) 2 REPEATボタンを押して「REP SHUF」を表示させる。
プログラムした曲順で繰り返す	1 プログラム再生を始める。 (21ページ参照) 2 REPEATボタンを押して「REP PGM」を表示させる。

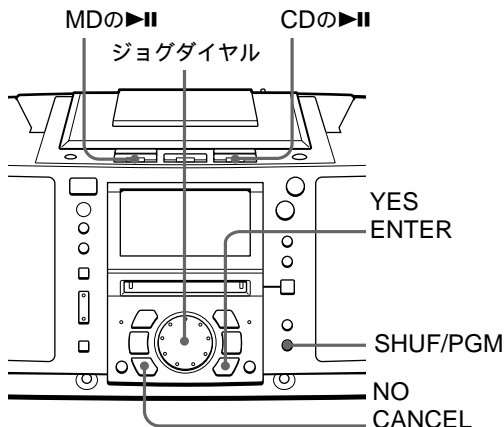
リピート再生をやめるには

停止させてからREPEATボタンを押して「REP」を消します。

# 聞きたい曲を 好きな順に聞く

(プログラム再生)

CDまたはMDを20曲まで聞きたい順にプログラムすることができます。



リモコンでは

MODEボタンを押して「PGM」を選び、数字ボタンで曲番を選びます。

ちょっと一言

曲番を間違えたときは、NO・CANCELボタンを押してから、ジョグダイヤルとYES・ENTERボタンで曲を選び直します。

聞きたい音源(CDまたはMD)の停止中に操作してください。

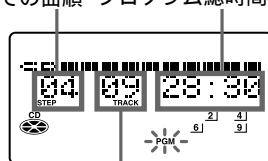
**1** SHUF/PGMボタンを押して「PGM」を表示させる。

**2** ジョグダイヤルを回して曲番を選び、YES・ENTERボタンを押す。

この操作を繰り返す。

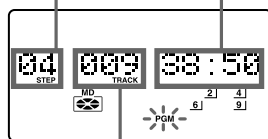
選んだ曲番がミュージックカレンダーに表示されます。

(CDの場合) プログラムでの曲順 プログラム総時間



選んだ曲番

(MDの場合) プログラムでの曲順 プログラム総時間



選んだ曲番

次のページへつづく

## 聞きたい曲を好きな順に聞く(プログラム再生)(つづき)

### ちょっと一言

- プログラム再生が終わっても、作ったプログラムは残っています。▶▶ボタンを押すと同じプログラムをもう一度聞くことができます。
- CDふたを開けるとCDのプログラムの内容が消え、MDを取り出すと、MDのプログラムの内容が消えます。
- 再生中は、合計時間を表示することはできません。

### 3 CDの▶▶(またはMDの▶▶)ボタンを押す。

プログラムした順に再生が始まります。

プログラム再生をやめるには  
停止させてからSHUF/PGMボタンを押して「PGM」を消します。

曲順を確認するには  
再生を始める前にYES・ENTERボタンを押します。  
「PGM Check」が表示され、ボタンを押すたびにプログラムした順で曲番号が表示されます。

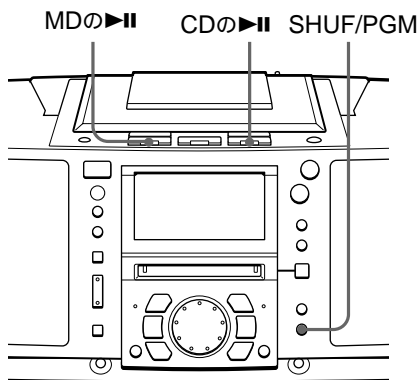
プログラムを変更するには  
再生を始める前に変更します。

変更のしかた	操作のしかた
最後の曲から消す	1 NO・CANCELボタンを押す。 最後にプログラムした曲が消えます。 2 プログラムし直す。
プログラムをし直す	1 ■ボタンを押してプログラムをすべて消す。 2 初めからプログラムをし直す。

# 順不同に聞く

## (シャッフル再生)

CDまたはMDに入っている全曲を順不同に聞くことができます。



### ちょっと一言

シャッフル再生中はジョグダイヤルを回して(リモコンの◀◀ボタンを押して)前の曲に戻すことはできません。

### リモコンでは

MODEボタンを押して「SHUF」を選びます。

聞きたい音源(CDまたはMD)の停止中に操作してください。

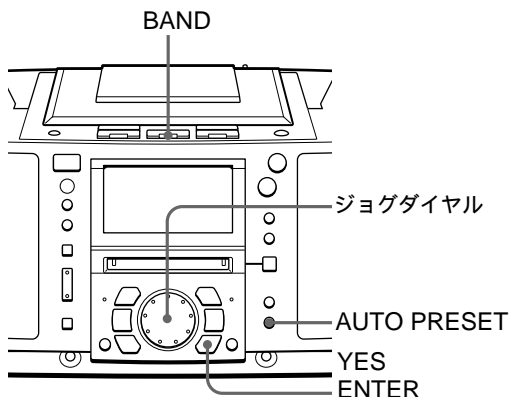
- 1 SHUF/PGMボタンを押して「SHUF」を表示させる。
- 2 CDの▶▶(またはMDの▶▶)ボタンを押す。  
シャッフル再生が始まります。

シャッフル再生をやめるには  
停止させてからSHUF/PGMボタンを押して「SHUF」を消します。

# 放送局を記憶させる

受信状態の良い放送局を自動的に記憶します(オートプリセット)。次からは記憶させた番号(プリセット番号)でその局を選ぶことができます。FM、AM各10局ずつ、計20局記憶できます。

また、都道府県名を登録させると、受信している放送局名が表示されます。放送局名を付け換えることもできます。



## ちょっと一言

FMかAMに都道府県名を登録すると、もう一方にも同じ都道府県名が登録されます。

## ご注意

手順3でAUTO PRESETボタンを押さずに約10秒以上たつと前回登録した都道府県名が登録されます。選び直すには手順2からやり直してください。

---

**1** BANDボタンを押して、FMかAMを選ぶ。

---

**2** 「Auto Preset」が表示されるまで、AUTO PRESETボタンを押したままにする。

プリセット番号の1番から順に、周波数の低い局から高い局へ受信状態の良い局だけが自動的に記憶されます。記憶されると、プリセット番号1に記憶された局を受信し、都道府県名が表示されます。

---

**3** ジョグダイヤルを回して都道府県名を選ぶ。

放送局名を表示させないときは  
AUTO PRESETボタンを押します。

---

**4** YES・ENTERボタンを押す。

放送局名が記憶され、受信したときに表示されます。表示される放送局については26、27ページをご覧ください。

---



リモコンでは

- 1 BANDボタンを押して、FMかAMを選ぶ。
- 2 TUNE +、TUNE - ボタンで放送局を選ぶ。
- 3 記憶させたいプリセット番号の数字ボタンを約2秒間押したままにする。

入力できる文字は

- カタカナ
- アルファベットA-Zの大文字、小文字
- 数字0~9
- 記号 ! " # \$ % & ( ) \* . ; < = > ? @ \_ ' + - ' , / :
- (スペース)

ちょっと一言

文字の入力のしかたについて詳しくは、42ページの手順3をご覧ください。

電波が弱くオートプリセットで記憶できなかった局があるときや、特定のプリセット番号に記憶させるには

- 1 BANDボタンを押して、FMかAMを選ぶ。
- 2 TUNE +、TUNE - ボタンで記憶させたい放送局の周波数に合わせ、YES・ENTERボタンを約2秒間押す。
- 3 ジョグダイヤルで記憶させたいプリセット番号を選ぶ。
- 4 YES・ENTERボタンを押す。  
都道府県名が登録されている場合(24ページ)は放送局名が表示されます。新しい放送局を記憶すると、同じ番号に記憶されていた局は消えます。

記憶させた放送局名を変えるには

- 1 28ページの手順に従って、放送局を選ぶ。
- 2 EDITボタンを約2秒間押したままにする。
- 3 放送局名を変える(最大12文字まで)。

操作	使うボタン
カーソルを移動する	◀または▶
文字を選ぶ	ジョグダイヤルを回す
文字を消す	DELETE
文字を挿入する	INSERT

- 4 YES・ENTERボタンを押す。

次のページへつづく

## ラジオの放送局を記憶させる(つづき)

### FM局名 (1998年5月現在)

放送局名	表示
NHK-FM	NHK-FM
FM北海道	AIR-G'
FMノースウェーブ	northwave
FM青森	FMアオモリ
FM岩手	FMイワテ
FM仙台	Date fm
FM秋田	FMアキタ
FM山形	FMヤマガタ
FM福島	フクシマFM
FM栃木	RADIO BERRY
FM群馬	FMゲンマ
FM埼玉	NACK 5
FMサウンド千葉	bay fm
放送大学	ホウソウダイガク
FMインターウェーブ	InterFM
FM東京	TOKYO FM
FMジャパン	J wave
横浜FM放送	Fm yokohama
FMラジオ新潟	FMニイガタ
富山FM放送	FMトヤマ
FM石川	FMイシカワ
福井FM放送	FMフクイ
FM富士	FMフジ
長野FM放送	FMナガノ
静岡FM放送	K-MIX
FM名古屋	ZIP-FM
FM愛知	FM AICHI
三重FM放送	ミエFM
FM滋賀	E-RADIO
FM京都	AlphaStation
FMはちまるに	FM802
FM大阪	fm osaka
関西インターメディア	FM COCOLO
兵庫FMラジオ放送	Kiss-FM
FM山陰	FMサンイン
広島FM放送	ヒロシマFM
岡山FM	オカヤマFM ( '98年秋開局予定 )

FM山口	FMヤマグチ
FM徳島	FMトクシマ
FM香川	FMカガワ
FM愛媛	FMエヒメ
FM高知	FMコウチ
FM九州	CROSS FM
九州国際FM	LOVE FM
FM福岡	FMフクオカ
FM佐賀	FMサガ
FM長崎	FMナガサキ
FM中九州	FMナカキュウシュウ
FM大分	FMオオイタ
FM宮崎	FMミヤザキ
FM鹿児島	ミュ-FM
FM沖縄	FMオキナワ

### AM局名 (1998年5月現在)

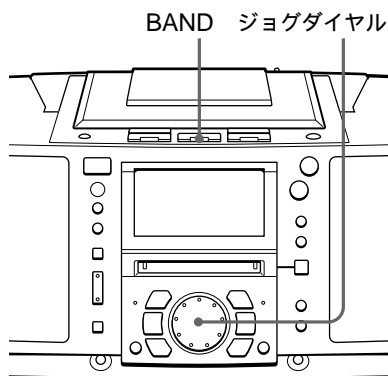
放送局名	表示
NHK第1放送	NHK-1
NHK第2放送	NHK-2
北海道放送	HBC/ホッカイドウ
札幌テレビ放送	STV/サッポロTV
青森放送	RAB/アオモリ
AFN三沢	AFN ミサワ
アイビシー岩手放送	IBC/イワテ
東北放送	TBC/トウホク
秋田放送	ABS/アキタ
山形放送	YBC/ヤマガタ
ラジオ福島	RFC/ラジオフクシマ
茨城放送	IBS/イバラキ
栃木放送	CRT/トチギ
AFN東京	AFN トウキョウ
東京放送	TBS
文化放送	ブンカ
ニッポン放送	ニッポン
アール・エフ・ラジオ日本	RFラジオニッポン
新潟放送	BSN/ニイガタ
北日本放送	KNB/キタニホン
北陸放送	MRO/ホクリク

福井放送	FBC/フクイ
山梨放送	YBS/ヤマナシ
信越放送	SBC/シンエツ
岐阜放送	GBS/ギフ
静岡放送	SBS/シズオカ
東海ラジオ放送	トウカイラジオ
中部日本放送	CBC/チュウブニホン
近畿放送	KBSキョウト
朝日放送	ABC/アサヒ
毎日放送	MBS/マイニチ
大阪放送	OBC/オオサカ
ラジオ関西	AM KOBE
和歌山放送	WBS/ワカヤマ
山陰放送	BSS/ サンイン
山陽放送	RSK/ サンヨウ
中国放送	RCC/チュウゴク
山口放送	KRY/ヤマグチ
AFN岩国	AFN イワクニ
四国放送	JRT/シコク
西日本放送	RNC/ニシニホン
南海放送	RNB/ナンカイ
高知放送	RKC/コウチ
九州朝日放送	KBCキウシュウアサヒ
アール・ケー・ビー毎日放送	RKBマイニチ
長崎放送	NBC/ナガサキ
AFN佐世保	AFN サセボ
熊本放送	RKK/クマモト
大分放送	OBS/オオイタ
宮崎放送	MRT/ミヤザキ
南日本放送	MBC/ミナミニホン
AFN沖縄	AFN オキナワ
琉球放送	RBC/リュウキュウ
ラジオ沖縄	ROK/ラジオオキナワ

# 記憶させた放送局を聞く

(プリセット選局)

あらかじめ記憶させておいた放送局を簡単に選ぶことができます。放送局を記憶させる方法は、24ページをご覧ください。



リモコンでは

- 1 BANDボタンを押して、FMかAMを選ぶ。
- 2 記憶させた局のプリセット番号の数字ボタンを押す。

---

**1** BANDボタンを押して、FMかAMを選ぶ。

---

**2** ジョグダイヤルを回して聞きたい局のプリセット番号を選ぶ。

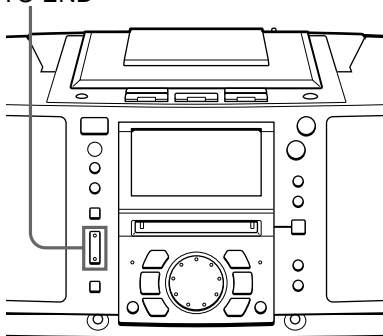
---

# CDの再生中の 曲だけを録音 する

レック イット  
(REC IT録音)


再生中の曲だけを、ボタンひとつでその曲の頭から録音できます。聞いている曲をすぐに録音したいとき便利です。

REC IT  
TO TOP  
TO END



録音

## ご注意

- 
 録音を止めたあと、「TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コンセントを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。録音されないことがあります。
- 音量が大きすぎると、音とびの原因となることがあります。

## ちょっと一言

- 録音済みのMDの内容を消して録音するには、34ページをご覧ください。
- 時計を合わせてであると、録音日時が自動的に記録されます。(45ページ)
- 録音中に曲名を付けることができます。43ページをご覧ください。

- 録音用MDを入れる。
- 録音するCDを入れ、録音したい曲を再生する。
- REC ITボタンのTO TOPまたはTO ENDを押す。

再生中の曲の頭まで戻って録音が始まります。

録音済みMDの場合、すでに録音してある部分の前に録音したいときはTO TOP側を、後ろに録音したいときはTO END側を押します。(新しいMDの場合はどちらのボタンを押しても同じです。)

録音を終わるとMDは自動的に停止しますが、CDの再生は続きます。

# CDから好きな曲を選んで録音する

(プログラムシンクロ録音)

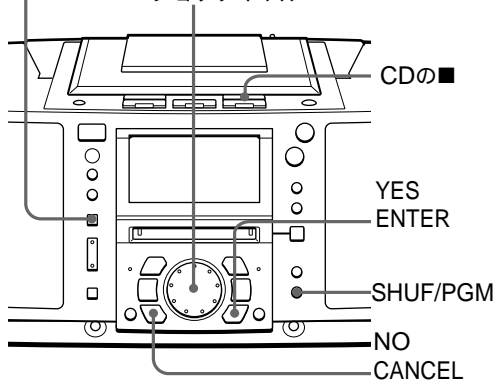
CDの好きな曲を好きな順番で20曲まで録音できます。

## ちょっと一言

曲番を間違えたときは、NO・CANCELボタンを押してから、ジョグダイヤルとYES・ENTERボタンで曲を選び直します。

SYNCHRO REC CD▶MD

ジョグダイヤル

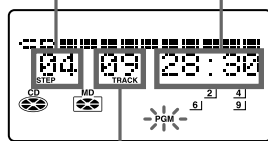


- 1 録音用MDを入れる。
- 2 録音するCDを入れ、CDの■ボタンを押す。
- 3 SHUF/PGMボタンを押して「PGM」を表示させる。
- 4 ジョグダイヤルを回して曲番を選び、YES・ENTERボタンを押す。

この操作を繰り返す。


選んだ曲番がミュージックカレンダーに表示されます。

プログラムでの曲順 プログラム総時間



選んだ曲番

## ご注意

-  録音を止めたあと、「TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コンセントを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。録音されないことがあります。
- 音量が大きすぎると、音とびの原因となることがあります。

## ちょっと一言

- 録音済みのMDの内容を消して上書き録音するには、34ページをご覧ください。
- 時計を合わせてあると、録音日時が自動的に記録されます。(45ページ)
- 録音中にディスク名、曲名を付けることができます。41ページをご覧ください。

## 5 SYNCHRO REC CD▶MDボタンを押す。

録音が始まります。

すでに録音してあるMDを入れたときは、録音部分の終わりから録音します。

「CD>MD OK?」と 足りない時間が交互に表示されたら

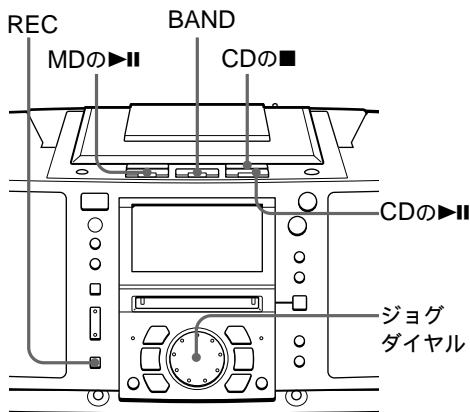
MDの録音できる残り時間が足りません。

CDを最後まで録音できなくてもよいときは、YES・ENTERボタンを押します。録音をやめるときは、NO・CANCELボタンを押します。

その他のメッセージが表示されたときは61ページをご覧ください。

# ラジオ・CDを録音する

ラジオやCDをRECボタンを使って録音します。好きなところで録音を始めたり止めることができます。録音を一時停止することもできます。



## ご注意

- 録音を止めたあと、「**TOC EDIT**」が点滅しているときは、電源コンセントを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。録音されないことがあります。
- 録音中は放送局を変えることはできません。一時停止して変えてください。
- 音量が大きすぎると、音とびの原因となることがあります。

## ちょっと一言

- 録音済みのMDに上書き録音するには、34ページをご覧ください。
- 録音中に曲番を付けるには、付けたいところでRECボタンを押します。
- 録音をしたあと曲番を付けるには「曲を分ける」(38ページ)をご覧ください。
- 放送局が記憶されている場合(24ページ)、MDの曲名として、その放送局名が自動的に記録されます(50曲分まで)。

## ラジオを録音する

ラジオの受信状態がよい場合、曲番(頭出しマーク)は、約2秒以上無音や小さな音が続くと自動的に付きます。録音を一時停止したところでも自動的に付きます。

不要な曲番が付いた場合、録音後に消してください(39ページ「曲をつなぐ」参照)。


- 録音したい放送局を受信する。
- 録音用MDを入れる。
- RECボタン(リモコンでは●ボタン)を押す。  
まだ録音は始まりません(録音待機状態)。
- MDの▶▶ボタン(リモコンではMDの▶▶または■ボタン)を押す。  
録音してある部分の終わりから録音が始まります。

録音を止めるには  
MDの■ボタンを押す。

録音を一時停止するには  
MDの▶▶ボタンを押す。もう一度押すと録音が始まります。(リモコンでは、MDの■ボタンを使います。)



## ご注意

-  録音を止めたあと、「TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コンセントを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。録音されないことがあります。
- 音量が大きすぎると、音とびの原因となることがあります。

## ちょっと一言

- 録音済みのMDに上書き録音するには、34ページをご覧ください。
- 録音中に曲番を付けるには、付けたいところでRECボタンを押します。
- 録音をしたあと曲番を付けるには「曲を分ける」(38ページ)をご覧ください。

## CDを録音する

曲番(頭出しマーク)は、CDと同じところに自動的に付きます。また、録音を一時停止したところでも自動的に付きます。

不要な曲番が付いた場合、録音後に消してください(39ページ「曲をつなぐ」参照)

- 1 CDを入れる。
- 2 CDの■ボタンを押して、CDを操作できる状態にする。
- 3 録音用MDを入れる。
- 4 RECボタン(リモコンでは●ボタン)を押す。  
まだ録音は始まりません(録音待機状態)。
- 5 MDの▶▶ボタン(リモコンではMDの▶または▶▶ボタン)を押す。  
録音してある部分の終わりから録音が始まります。
- 6 CDの再生を始める。

録音を止めるには  
MDの■ボタンを押す。

録音を一時停止するには  
MDの▶▶ボタンを押す。もう一度押すと録音が始まります。(リモコンでは、MDの▶▶ボタンを使います。)

# 録音済みのMDに録音する

2つの方法があります。

- 録音済みの内容を消さずに、ディスクの残り部分に録音する。
- 録音済みの内容を消して、上から録音する。

## 録音内容を消さずに追加録音するには

録音済みのMDを入れ、録音を始めます(10、32、33ページ参照)。自動的に録音済み部分の後ろに録音されます。

録音できる残り時間が足りないときは

CDをまるごと録音する場合は、「CD>MD OK?」が表示されます(11ページ)。ラジオやCDを一部録音する場合は、DISPLAYボタンを押してMDの残り時間を確かめます。

## 録音内容を消して上書き録音するには

録音内容をすべて消して初めから録音しないおすには

まず、MDの内容をすべて消します(37ページ参照)。

そのあとは新しいMDと同じように使えます。

録音内容の途中から、消しながら録音するには

- 1 MDを再生し、新しく録音を始めたいところでMDの▶▶ボタンを押して一時停止させる。
- 2 RECボタンを押して録音待機状態にする。
- 3 録音する音を出す。
- 4 MDの▶▶ボタンを押して録音を始める。

### ご注意

録音内容の途中から録音した場合、新しい録音部分が前の録音部分より短いと、新しい録音部分のあとには、前の録音部分の残りが残ってしまいます。それを繰り返すと細かい残り部分がたくさんできてしまうので、録音内容が不要になったら、MDの内容をすべて消してから(37ページ参照) 新たに使うことをおすすめします。

# 編集の前にお読みください

MDでは、曲番(頭出しマーク)で曲と曲を区切っています。この曲番によって、曲の頭出しなどがすばやくできます。曲番は、録音の内容に関係なく付けられますので、音楽として1つの曲であっても、途中で曲番を付けることによって複数の「曲」に分けることもでき、逆に、複数の音楽を1つの「曲」としてまとめることもできます。

曲番の付きかたは録音のしかたや録音状況によって異なります

録音方法	曲番が付く位置
CDをまるごと録音する(10ページ)	CDと同じところ
CDをRECボタンで録音する(33ページ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• CDと同じところ</li> <li>• 録音を一時停止したところ</li> <li>• 録音中、RECボタンを押したところ</li> </ul>
ラジオや他の機器から録音する(32、54ページ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 約2秒以上の無音または小さい音が続いたとき</li> <li>• 録音を一時停止したところ</li> <li>• 録音中、RECボタンを押したところ</li> </ul>

曲番は、録音後も、MD編集によって消したり付けたりすることができますので、ラジオや他の機器から録音したときなど、思ったところに曲番が付いていない場合には、直してください。

曲番を正しく直すには

- 曲番を消すには → 「曲をつなぐ(コンバイン機能)」(39ページ): 曲番を消すことによって、前後の「曲」が1つの「曲」になります。
- 曲番を追加するには → 「曲を分ける(ディバイド機能)」(38ページ): 曲番を追加することによって、1つの「曲」が2つの「曲」に分けられます。

こんなこともできます

- 「曲」を消す → 「曲を消す(イレース機能)」(36ページ)
- ディスクの内容を全部消す → 「曲を消す(イレース機能)」(37ページ)
- 曲順を入れ変える → 「曲を移動する(ムーブ機能)」(40ページ)
- 好きなところを頭出しする → 「曲を分ける(ディバイド機能)」(38ページ)
- 好きなところをつないでメドレーにする → 「曲を消す(イレース機能)」(36ページ)と「曲をつなぐ(コンバイン機能)」(39ページ)

ご注意



編集後、「TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コンセントを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。正しく記録されないことがあります。

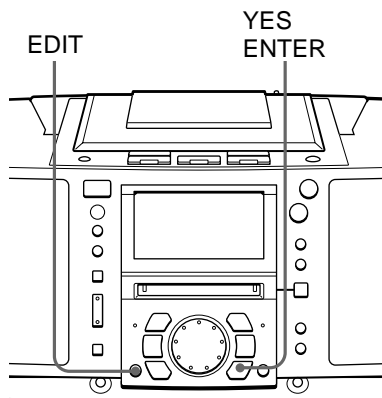
# 曲を消す

(イレース機能)


録音した曲を瞬時に消したり、曲の中の不要な部分だけを消すことができます。また、カセットテープのように消した部分が無音のまま残ることもありません。

曲を消す方法には3種類があります。

- 1曲ずつ消す
- 1枚のMDのすべての内容を消す
- 曲中の一部分を消す



## ご注意

- 「Protected」が表示されたら、そのディスクは誤消去防止状態になっています。(57ページ)
-  編集後、「TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コンセントを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。正しく記録されないことがあります。

## 1曲ずつ消す

1曲まるごと消せます。曲を消すと、次の曲が順に繰り上がり、自動的に連続した曲番が付きます。

---

**1** 消したい曲を再生する。

---

**2** EDITボタンを繰り返し押し続けて「Track Erase」を表示させる。

---

**3** YES・ENTERボタンを押す。

「Erase OK?」が表示され、1曲リピート再生になります。いったん消すと元に戻りません。もう一度確認してください。

中止するときは

NO・CANCELボタンまたはMDの■ボタンを押します。

---

**4** YES・ENTERボタンを押す。

「Complete」が数秒間表示され、再生中の曲が消えます。

---

ご注意

**TOC  
EDIT**

編集後、「TOC  
EDIT」が点滅  
しているとき

は、電源コンセントを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。正しく記録されないことがあります。

## 1枚のMDのすべての内容を消す

一度に、MDの中の全曲と全曲名、ディスク名を消すことができます。消したあとは新しいMDと同じように使えます。

**1** 停止中、EDITボタンを繰り返し押して「All Erase」を表示させる。

**2** YES・ENTERボタン押す。

「Erase OK?」が表示されます。いったん消すと元に戻りません。もう一度確認してください。

中止するときは

NO・CANCELボタンまたはMDの■ボタンを押します。

**3** YES・ENTERボタンを押す。

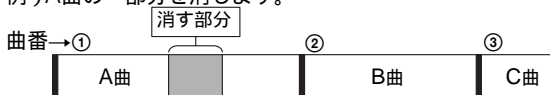
「TOC EDIT」が消えたあと、「Blank Disc」が表示され、入れてあるMDの内容がすべて消えます。

M  
D  
編  
集

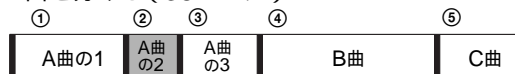
## 曲中の一部分を消す

「曲を分ける」(38ページ)、「曲を消す」(37ページ)、「曲をつなぐ」(39ページ)の3つの機能を組み合わせて使い、1曲中の一部分だけを消すことができます。

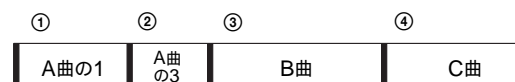
例)A曲の一部分を消します。



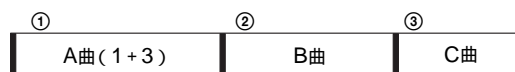
**1** A曲を分ける(38ページ)



**2** A曲の2を消す(37ページ)



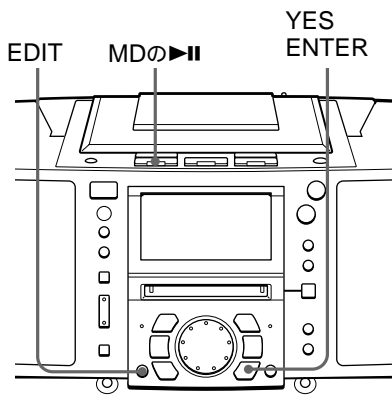
**3** A曲の1とA曲の3をつなぐ(39ページ)



# 曲を分ける

(ディバイド機能)

ラジオなどの録音では、正しく曲番が付かないことがあります。このため、1つの曲番のなかに複数の曲が入ることがあります。これをいくつかの曲に分け、それぞれに頭出しのための曲番を付けることができます。分けた曲以降の曲番は自動的に連続した曲番が付きます。



ちょっと一言

- 一度分けた曲を元に戻すには「曲をつなく」(39ページ)をご覧ください。
- 録音中に曲を分けるには録音中、曲番を付けたいところでRECボタンを押します。

ご注意

- 「Sorry」が表示されたらその曲を分けることはできません。MDは何度も編集を繰り返すと分けられなくなることがあります。これは、MDのシステム上の制約(62ページ)で、故障ではありません。
-  編集後、「TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コンセントを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。正しく記録されないことがあります。

例)1つの曲番(①)にA、B、Cの3曲が入っているとき

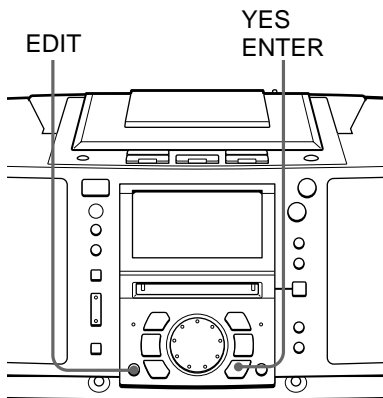


- 再生中、曲を分けるところでMDの▶||ボタンを押す。  
再生一時停止状態になります。
- EDITボタンを繰り返し押して「Divide」を表示させる。
- YES・ENTERボタンを押す。  
「Divide OK?」が表示されます。  
中止するときは  
NO・CANCELボタンまたはMDの■ボタンを押します。
- YES・ENTERボタンを押す。  
「Complete」が数秒間表示され、曲が分かれます。分ける前に付いていた曲名は、前の曲だけに付き、後の曲には曲名が付きません。ミュージックカレンダーは、1曲分増えます。

# 曲をつなぐ

(コンバイン機能)

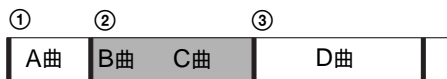
連続した2つの曲をつないで1曲にまとめることができます。何度も停止してコマ切れで録音したものを1つにまとめたり、不要な曲番を取ったりするときにお使いください。つないだ曲以降の曲番は、自動的に連続した曲番が付きます。



例) B曲とC曲をつなぐ



B曲とC曲をつないで、C曲の曲番を取る



## ご注意

- 「Sorry」が表示されたら、その2曲はつなぐことができません。MDは何度も編集を繰り返すと、つなげなくなることがあります。これはMDのシステム上の制約(62ページ)で、故障ではありません。
- 「Cannot Edit」が表示されたら、MDの1曲目でコンバインされようとしています。コンバイン機能は使えません。
- TOC EDIT** 編集後、「TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コンセントを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。正しく記録されないことがあります。

## 1 つなぐ曲を再生する。

例えばB曲とC曲をつなぐときは、C曲を再生します。

## 2 EDITボタンを繰り返し押しして「Combine」を表示させる。

## 3 YES・ENTERボタンを押す。

「Combine OK?」が表示され、再生一時停止になります。

中止するときは

NO・CANCELボタンまたはMDの■ボタンを押します。

## 4 YES・ENTERボタンを押す。

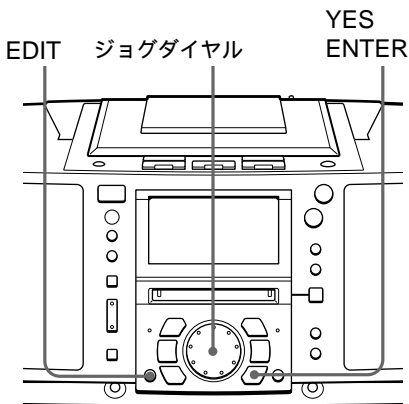
「Complete」が数秒間表示され、曲がつながります。

つないだ2曲両方に曲名が付いている場合は後の曲名が消えます。ミュージックカレンダーの曲番は1曲分減ります。

# 曲を移動する

(ムーブ機能)

ある曲を好きな位置に移動して、曲順を変え  
ることができます。移動後の曲番は、自動的  
に連続した曲番が付きます。



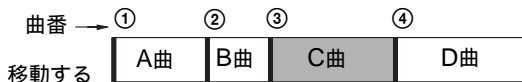
ご注意



編集後、「TOC  
EDIT」が点滅  
しているとき

は、電源コンセントを抜い  
たり、本機を動かしたりし  
ないでください。正しく記  
録されないことがあります。

例) C曲を1曲目に移動する



C曲を1曲目に移動する



- 1 移動させたい曲を再生する。
- 2 EDITボタンを繰り返し押しして「Track Move」を  
表示させる。
- 3 YES・ENTERボタンを押す。  
「Track 003?」が表示され、1曲リピート再生になり  
ます。
- 4 ジョグダイヤルを回して移動先の曲番を表示させ  
る。  
中止するときは  
NO・CANCELボタンまたはMDの■ボタンを押します。
- 5 YES・ENTERボタンを押す。  
「Complete」が数秒間表示され、曲が移動します。

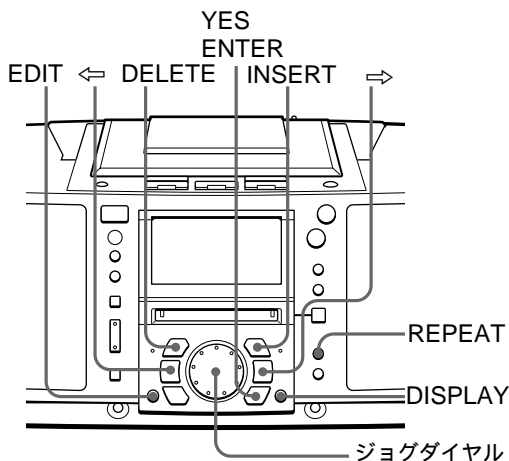


# ディスク名や曲名を付ける

(ネーム機能)

録音中または録音後に、ディスク名や曲名を記録することができます。

1枚のディスクにはアルファベット/数字/記号で最大約1700文字、カタカナ文字のみで最大約800文字まで入力できます。



## 録音中に付ける

シンクロ録音(10ページ)、プログラムシンクロ録音(30ページ)中にはディスク名や曲名が、REC IT録音(29ページ)中には曲名のみが付けられます。

シンクロ録音、プログラムシンクロ録音中の場合  
ディスク名や曲名をそれぞれ50文字まで付けられます。曲名は30曲目まで記録できます。31曲目以降は録音後に付けてください(44ページ参照)。

### ちょっと一言

CDテキスト対応のCDを録音しているときは、曲名が文字入力時に表示されません。必要があれば手順3にしたがって名前を変更してから、YES・ENTERボタンを押して確定してください。CDテキストの曲名はYES・ENTERボタンで確定しないとMDには記録されません。

- 1 録音中にEDITボタンを押して「Disc Name」または「Track Name」を選びYES・ENTERボタンを押す。

ディスク名を付ける場合：「Disc Name」

曲名を付ける場合：「Track Name」

- 2 曲名を付ける場合、ジョグダイヤルを回してCDの曲番を選び、YES・ENTERボタンを押す。  
ディスク名を付ける場合は、手順3へ進む。

次のページへつづく

# ディスク名や曲名を付ける(ネーム機能)(つづき)

入力できる文字

- カタカナ  
アイウエオ.....ヤユヨツ  
ゞ 〃 〃 〃 / : □(スペース)
- アルファベット大文字  
ABCD.....WXYZ ' , / :  
□(スペース)
- アルファベット小文字  
abcd.....wxyz ' , / :  
□(スペース)
- 数字・記号  
0123456789!"#\$%&()\*  
.;<=>?@\_`+ - ' , / :  
□(スペース)

ご注意

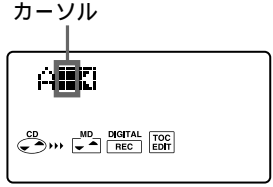


編集後、「TOC EDIT」が点滅しているとき

は、電源コンセントを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。正しく記録されないことがあります。

### 3 ジョグダイヤルで文字を入力する。

ジョグダイヤルを左右に回して文字を選び、  
⇒ボタンでカーソルを右に移動させます。



ジョグダイヤルのほかに使えるボタンと機能は以下のとおりです。

ボタン	機能
DISPLAY	カタカナ アルファベット大文字 アルファベット小文字 数字と記号の順に切り替わる。
←、⇒	カーソルを左右に移動する。
REPEAT	カタカナ入力時、「ア」「カ」「サ」「タ」...の順に文字が変わる。 戻すには、SHUF/PGMボタンを押す。
DELETE	カーソル位置の文字を削除する。
INSERT	カーソル位置に空白を挿入する。

### 4 手順3を繰り返し、名前を付ける。

### 5 名前を付け終わったらYES・ENTERボタンを押す。

ディスク名または曲名が記録されます。

### ちょっと一言

CDテキスト対応のCDを録音しているときは、文字入力時に曲名が表示されません。必要があれば42ページの手順3にしたがって名前を変更してから、YES・ENTERボタンを押して確定してください。CDテキストの曲名はYES・ENTERボタンで確定しないとMDには記録されません。

### REC IT録音の場合

曲名のみ100文字まで記録できます。

- 1 録音中にEDITボタンを押す。  
曲名入力表示になります。
- 2 42ページの手順3～4にしたがって、名前を付ける。
- 3 名前を付け終わったらYES・ENTERボタンを押す。  
曲名が記録されます。

[次のページへつづく](#)

## ディスク名や曲名を付ける(ネーム機能)(つづき)

### ちょっと一言

すでにディスク名や曲名が記録されているMDのときは、文字入力時にディスク名や曲名が表示されます。必要があれば42ページの手順3にしたがって名前を変更してから、YES・ENTERボタンを押して確定してください。

### 録音後に付ける

録音後にディスク名や曲名を付けるには、次のように操作します。それぞれ100文字まで付けられます。

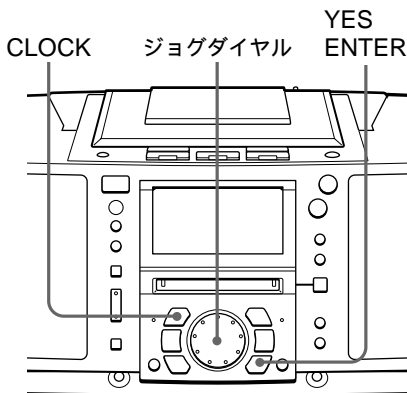
- 1** ディスク名の場合：MDを入れて停止状態にする。  
曲名の場合：曲名を付けたい曲を再生する。
- 2** EDITボタンを押して「Disc Name」または「Track Name」を選び、YES・ENTERボタンを押す。  
ディスク名を付ける場合：「Disc Name」  
曲名を付ける場合：「Track Name」
- 3** 42ページの手順3～4にしたがって、名前を付ける。
- 4** 名前を付け終わったらYES・ENTERボタンを押す。  
ディスク名または曲名が記録されます。

名前を変更するには

手順1を行なって、変更したいディスク名または曲名を表示させます。変更したい名前の上から新しい名前を入力し、YES・ENTERボタンを押します。

# 時計を合わせる

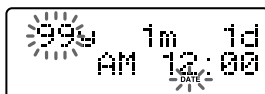
本機の時計表示は、時計を合わせるまで「--y--m--d」「--:--」のみです。時計を合わせておくと、録音したとき、自動的に録音日時が記録されます(11、29、31ページ)。



## ちょっと一言

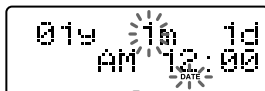
- 本機の時計は12時間表示です。  
真夜中 : 「AM12:00」  
正午 : 「PM12:00」
- 秒まで正確に合わせるには、時報サービス(117番)をご利用になると便利です。
- 時計合わせは、本機の電源の入、切に関係なく設定できます。

- 1 西暦年の数字が点滅するまで、CLOCKボタンを押したままにする。

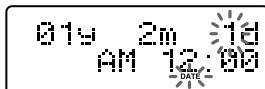


- 2 年月日を合わせる。例) 2001年2月14日の場合

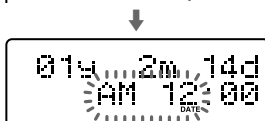
- ① ジョグダイヤルを回して「年」を合わせ、YES・ENTERボタンを押す。



- ② ジョグダイヤルを回して「月」を合わせ、YES・ENTERボタンを押す。



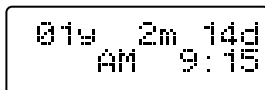
- ③ ジョグダイヤルを回して「日」を合わせ、YES・ENTERボタンを押す。



- 3 時刻を合わせる。

- ① ジョグダイヤルを回して「時」を合わせ、YES・ENTERボタンを押す。
- ② ジョグダイヤルを回して「分」を合わせる。

- 4 YES・ENTERボタンを押す。



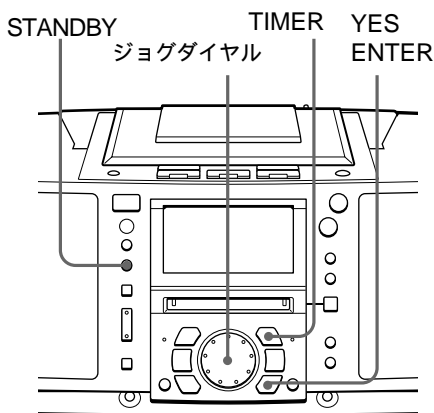
00秒から時計が動きます。

時計表示を出すには

CLOCKボタンを押します。元の表示に戻すには、もう一度CLOCKボタンを押します。電源が切れているときは、常に時計表示です。

# 音楽で目覚める

タイマー機能を使って、好きなCDやMD、ラジオ番組を目覚まし代わりにすることができます。本機の時計合わせを行ってから操作してください(45ページ参照)。



## ご注意

- 目覚ましタイマーとラジオの留守録音(48ページ)は同時に予約できません。
- LINE IN端子につないだ機器の音を聞くときは、つないだ機器の取扱説明書もご覧ください。

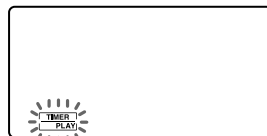
表示窓に「TIMER PLAY」か「TIMER REC」が出ているら、STANDBYボタンを押して消します。

## 1 聞きたい音源の準備をする。

音源	準備
CD	CDを入れる。
MD	MDを入れる。
RADIO(ラジオ)	聞きたい局を受信する。
LINE(外部入力)	LINE IN端子につないだ機器の電源を入れる。

## 2 TIMERボタンを押す。

「TIMER PLAY」または「TIMER REC」が点滅します。



このあと、表示窓で確認しながら設定していきます。

## 3 ジョグダイヤルを回して「TIMER PLAY」を表示させ、YES・ENTERボタンを押す。

「MD」「CD」「RADIO」「LINE」のいずれかが点滅します。

## 4 ジョグダイヤルを回して聞きたい音源(「MD」「CD」「RADIO」「LINE」)を表示させ、YES・ENTERボタンを押す。

ちょっと一言

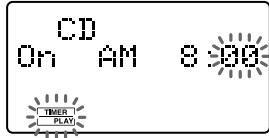
設定を間違えたときは、NO・CANCELボタンを押します。最後に設定した内容が消えますので設定し直してください。

ちょっと一言

- 予約待機状態を取り消すには、STANDBYボタンを押して、表示窓の「TIMER PLAY」を消します。
- 予約内容は別の設定をしない限り保持されます。
- ①はタイマーで動作中であることを示す表示です。

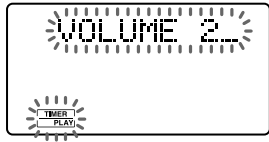
**5** 再生を始める時刻を設定する。

- ① ジョグダイヤルを回して「時」を合わせ、YES・ENTERボタンを押す。
- ② ジョグダイヤルを回して「分」を合わせ、YES・ENTERボタンを押す。



**6** 同じように再生を止める時刻を設定する。

- 7** ジョグダイヤルを回して希望の音量を表示させ、YES・ENTERボタンを押す。



**8** STANDBYボタンを押す。

「TIMER PLAY」が表示され予約待機状態になります。設定した時刻になると自動的に再生が始まり、終了時刻になると電源が切れ、再び予約待機状態に戻ります。

予約した内容を確認したり、変更するには

TIMERボタンを押してから、YES・ENTERボタンを押します。押すたびに設定した順に予約内容が表示されます。変更したい場合は、その内容を表示させてそこから設定をやり直します。

予約したあとでラジオなどを聞くには

電源を入れれば、通常の操作ができます。(ラジオの場合46ページの手順1で受信した局とは別の局を聞くと、予約した時刻には、別の局が始まります。)予約した時刻になる前に電源を切ります。

タイマー再生を途中で止めるには

POWERボタンを押して電源を切ります。

# 留守中にラジオを録音する

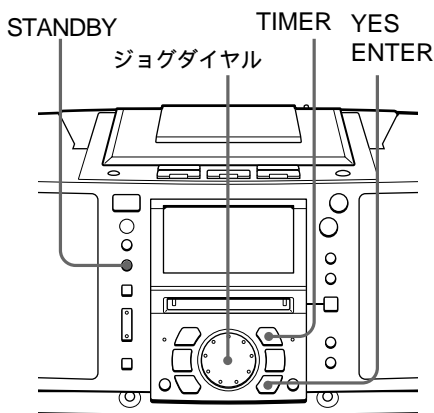
留守中や深夜など、その場で録音できないときにタイマーを使って録音できます。LINE IN端子につないだ機器からも録音できます。本機の時計合わせを行ってから操作してください(45ページ参照)。

## ご注意

- ラジオの留守録音と目覚ましタイマー(46ページ)は同時に予約できません。
- LINE IN端子につないだ機器から録音するときは、つないだ機器の取扱説明書もご覧ください。

## ちょっと一言

設定を間違えたときは、NO・CANCELボタンを押します。最後に設定した内容が消えますので設定し直してください。

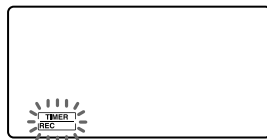


表示窓に「TIMER PLAY」が「TIMER REC」が出ていたら、STANDBYボタンを押して消します。

**1** 録音したい放送局を受信し、録音用MDを入れる。

**2** TIMERボタンを押す。

「TIMER PLAY」または「TIMER REC」が点滅します。



このあと、表示窓で確認しながら設定していきます。

**3** ジョグダイヤルを回して「TIMER REC」を表示させ、YES・ENTERボタンを押す。

**4** ジョグダイヤルを回して「RADIO」を表示させ、YES・ENTERボタンを押す。

LINE IN端子につないだ機器から録音するときは、「LINE」を表示させ、YES・ENTERボタンを押します。

**5** 録音を始める時刻を設定する。

① ジョグダイヤルを回して「時」を合わせ、YES・ENTERボタンを押す。



② ジョグダイヤルを回して「分」を合わせ、YES・ENTERボタンを押す。

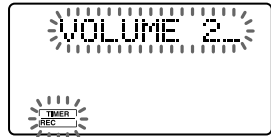


ちょっと一言

- 予約待機状態を取り消すには、STANDBYボタンを押して、表示窓の「TIMER REC」を消します。
- 予約内容は別の設定をしない限り保持されます。
- ④はタイマーで動作中であることを示す表示です。

**6** 同じように録音を止める時刻を設定する。

**7** ジョグダイヤルを回して希望の音量を表示させ、YES・ENTERボタンを押す。



**8** STANDBYボタンを押す。

「TIMER REC」が表示され予約待機状態になります。設定した時刻になると自動的に録音が始まり、終了時刻になると電源が切れ、再び予約待機状態に戻ります。

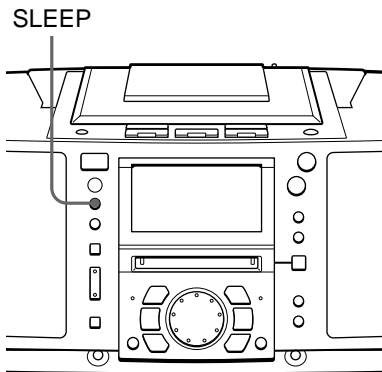
予約した内容を確認したり、変更するには  
TIMERボタンを押してから、YES・ENTERボタンを押します。押すたびに設定した順に予約内容が表示されます。変更したい場合は、その内容を表示させてそこから設定をやり直します。

予約したあとでラジオなどを聞くには  
電源を入れれば、通常の操作ができます。(ラジオの場合48ページの手順1で受信した局とは別の局を聞くと、予約した時刻には、別の局が始まります。)予約した時刻になる前に電源を切ります。

タイマー録音を途中で止めるには  
POWERボタンを押して電源を切ります。

# 音楽を聞きながら眠る (スリープ機能)

指定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。時間は10分、20分、30分、60分、90分、120分の中から選べます。音楽を聞きながら安心してお休みになれます。



リモコンでは

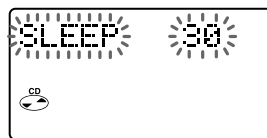
SLEEPボタンを繰り返し押し、時間(分)を選びます。

ちょっと一言

- 目覚ましタイマーとスリープ機能を組み合わせて使うことができます。このときは、先に目覚ましタイマーを予約待機状態にしてから(46ページ参照)電源を入れスリープ機能を働かせます。
- 目覚ましタイマーとスリープ機能で違う音楽を聞くことができます。ただし、ラジオでは別の局を設定することはできません。
- 目覚ましタイマーとスリープ機能で違う音量を設定できます。たとえば、小さい音量で眠り、大きな音量で目覚めることができます。

- 1 聞きたい音楽の演奏を始める。
- 2 SLEEPボタンを押して、「SLEEP」を表示させる。

- 3 SLEEPボタンを押して時間(分)を選ぶ。  
「60」→「90」→「120」  
→(表示なし)→「10」  
→「20」→「30」と変わります。



SLEEPボタンを押してから約4秒間そのままにすると、そのとき表示されている時間に設定されます。

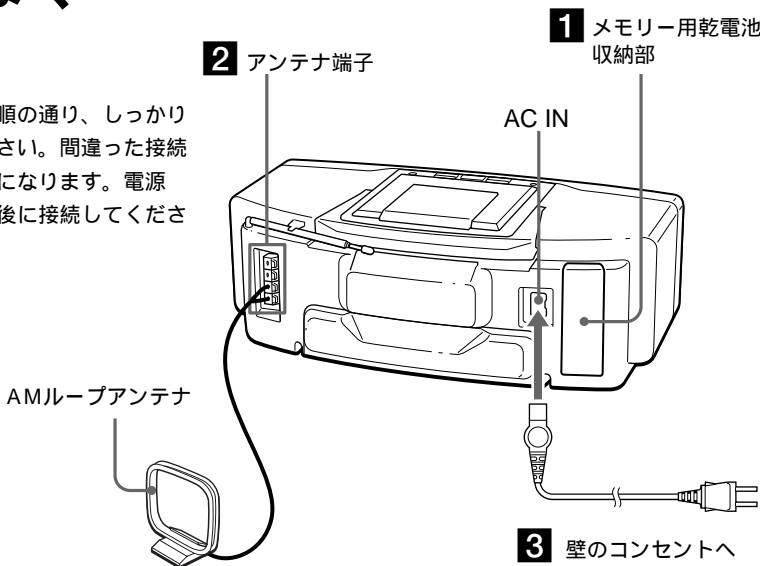
指定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。

スリープ機能を途中で止めるには  
SLEEPボタンを押して、「SLEEP」を消します。

スリープ時間を変更するには  
手順2からやり直してください。

# 電源やアンテナをつなぐ

コードは下の手順の通り、しっかり差し込んでください。間違った接続は誤動作の原因になります。電源コードは必ず最後に接続してください。



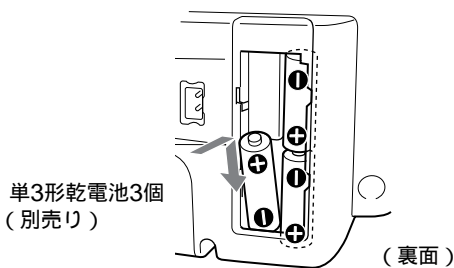
接続と準備

## ご注意

電源コードを抜いたり乾電池を取り出す前に、必ず電源を切ってください。

## 1 メモリー用乾電池を入れる

停電時に内蔵タイマーや放送局の記憶内容を保つためには、メモリー用乾電池を入れてお使いください。



次のページへつづく

# 電源やアンテナをつなぐ(つづき)

## ご注意

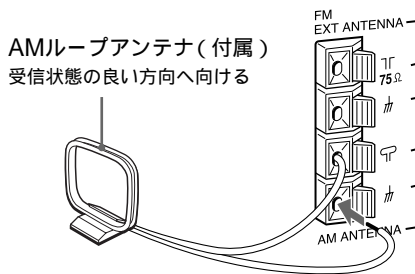
AMループアンテナはできるだけ本体から離してください。雑音の原因になります。

## 2 アンテナを接続する

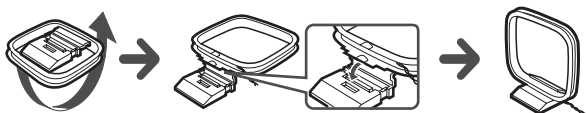
1 コードの先の被覆を取り除き、導線部分をねじる。



2 導線部分をアンテナ端子につなぐ。



AMループアンテナを組み立てるには



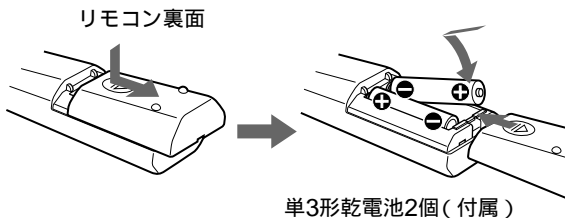
## ちょっと一言

電源コードの極性(コンセントにプラグを差し込む向き)により音質が微妙に変わることがあります。好みの向きでお使いください。

## 3 電源コードを接続する

本機のAC INジャックに差し込んだあと、壁のコンセントへ差し込んでください。

#### 4 リモコンに乾電池を入れる



##### 乾電池の交換について

乾電池が消耗してくると、リモコンで操作できる距離が短くなります。乾電池をすべて新しいものと交換してください。ふつうの使いかたで約6か月もちます。

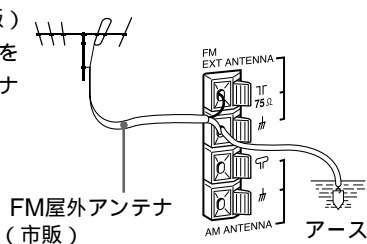
##### ご注意

屋外アンテナを立てたときは、雷による危険を防ぐために $\text{⚡}$ 表示のある端子にアースをつないでください。

市販のビニール線を $\text{⚡}$ 表示のある端子につなぎ、もう一方の端を銅製の金属棒につないで地中に埋めます。または鋼管製の水道管につなぎます。ガス管につなぐのは危険です。絶対にやめましょう。

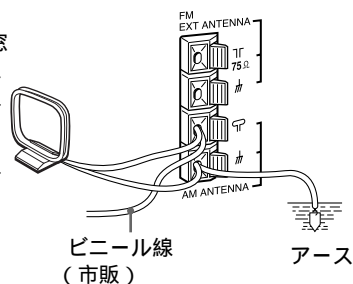
#### FM放送の受信状態を良くするには

FM屋外アンテナ(市販)をつなぎます。分配器を使えば、テレビアンテナでも代用できます。



#### AM放送の受信状態を良くするには

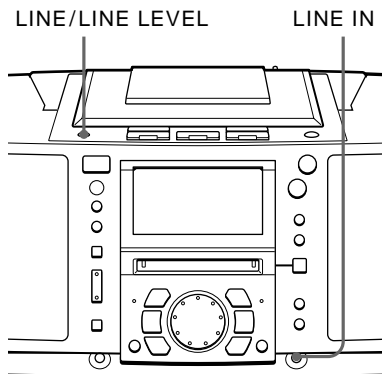
6~15mのビニール線(市販)をつなぎます。窓際や屋外になるべく水平に張ると効果的です。付属のAMループアンテナをはずす必要はありません。



# 他の機器をつないで使う

テレビやビデオの音などを本機のスピーカーで聞くことができます。

他の機器と接続するときは電源を切ってください。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。



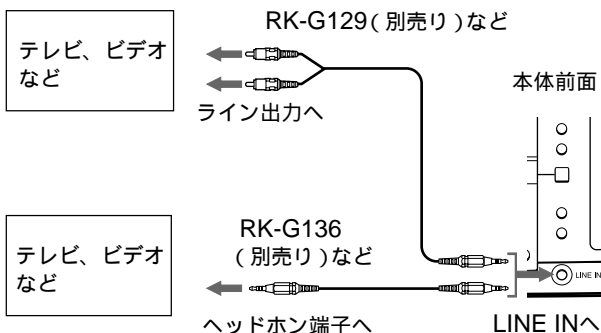
## ご注意

接続コードはしっかり差し込んでください。誤動作の原因になります。

## ちょっと一言

録音中、約2秒無音状態が続くと、曲番（頭出しマーク）が自動的に付きます。

## テレビやビデオの音を聞く



接続が終わったら、電源を入れ本体上面のLINE/LINE LEVEL ボタンを繰り返し押して「LINE」を表示させます。

## つないだ機器の音を録音するには

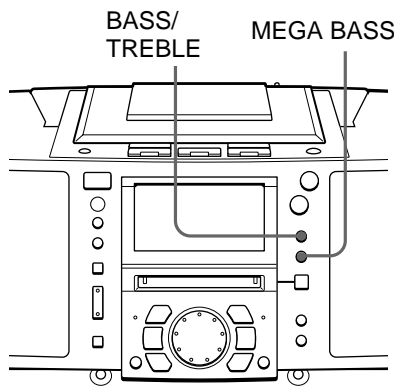
- 1 録音用MDを入れる。
- 2 本体上面のLINE/LINE LEVEL ボタンを押して「LINE」を表示させる。
- 3 REC ボタンを押す。  
まだ録音は始まりません（録音待機状態）。
- 4 MDの▶|| ボタンを押す。  
録音が始まります。
- 5 LINE INジャックにつないだ機器の音を出す。

つないだ機器の音が大きすぎるときは

LINE/LINE LEVELボタンを繰り返し押して、「Level : High」を表示させてください（通常は「Level: Normal」）。または、つないだ機器の音量を小さくしてください。

# 好みの音質で 聞く

音楽に合わせて重低音を強調したり、低音、高音を調節したりできます。



## 迫力ある重低音を楽しむ

MEGA BASSボタンを繰り返し押して、好みの設定を選ぶ：

MEGA BASS Level:1 → MEGA BASS Level:2  
→MEGA BASS Level:3 → MEGA BASS Offと変わります。

1→2→3の順に重低音が  
より強くなります。

A rectangular digital display showing the text 'MEGA BASS Level:1' in a simple, blocky font.

リモコンでは

BASS/TREBLEボタンを押したあと、+または-ボタンでレベルを調節します。

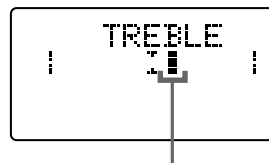
ちょっと一言

調節した音は、大きな音量で聞くと効果が出にくくなります。

## 低音/高音を調節する

**1** BASS/TREBLEボタンを押して、「BASS」(低音)または「TREBLE」(高音)を表示させる。

**2** ジョグダイヤルを回してレベルを調節する。



ジョグダイヤルを回すと左右に動きます。右に行くほどレベルが上がり、左に行くほど下がります。

# 使用上のご注意

## 取り扱いについて

- CDぶたを開けたまま放置しないでください。内部にゴミやほこりが入り、故障の原因になることがあります。
  - 本機のスピーカーには強力な磁石を使っています。次のようなものは本機のそばに置かないでください。磁気に変化して不具合がおきることがあります。
    - 時計
    - クレジットカードなどの磁気カード
    - カセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープ
- また、本機をテレビの近くにはおかないでください。テレビの画像が乱れることがあります。

## 本体のお手入れのしかた

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、から拭きます。

シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。


## CDの取り扱いかた

- 文字の書かれていない面(演奏面)に触れないように持ちます。
- 紙などを貼ったり、傷つけたりしないでください。



- 長時間演奏しないときは、ケースに入れて保存してください。ケースに入れずに重ねて置いたり、ななめに立てかけておくとその原因になります。
- 本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状(星形、ハート型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

## CDのお手入れのしかた

- 指紋やほこりによるCDの汚れは、音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
  - ふだんのお手入れは、柔らかい布でCDの中心から外の方へ軽く拭きます。
- 
- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
  - ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、CDを傷めることがありますので、使わないでください。

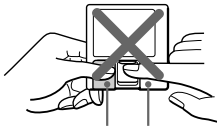


## MDの取り扱いかた

MDはカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。ただし、カートリッジの汚れやそりなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように次のことをご注意ください。

### 内部のディスクに直接触れないでください

シャッターを無理に開けようとすると、こわれることがあります。シャッターが開いてしまった場合はすぐに閉めてください。



シャッター カートリッジ

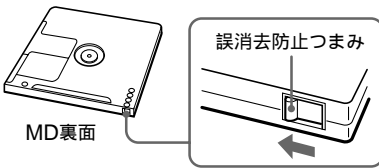
### MDのお手入れのしかた

定期的にカートリッジ表面についたほこりやゴミを乾いた布で拭き取ってください。

### 録音内容を間違えて消さないために

誤消去防止つまみをずらして、孔の開いた状態にします。

再び録音するときは、つまみを元に戻します。



# 故障かな?と思ったら

修理に出す前に、もう一度次の点検をしてください。

症状	チェック項目
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• POWERボタンを押して電源を入れる。</li><li>• 電源コードをコンセントにしっかり差し込む。</li><li>• 音量を調節する。</li><li>• スピーカーで聞くときは、ヘッドホンを○ジャックから抜く。</li><li>• 「TOC Reading」が消えるまで待つ。</li></ul>
共通 テレビに色むらが起こる。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 本機をテレビから離す。</li></ul>
表示窓にいろいろな表示が次々と出てくる。	<ul style="list-style-type: none"><li>• デモモードになっている。(DISPLAYボタンを2秒以上押し続けたままにした)。DISPLAYボタンを2秒以上押し、通常の状態に戻す。</li></ul>
雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している携帯電話などを本機から離して使用する。</li></ul>
再生が始まらない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• CDぶたが閉まっていることを確認する。</li></ul>
CDが入っているのに「No Disc」が表示される。	<ul style="list-style-type: none"><li>• CDが裏返し 文字のある面を上にする。</li><li>• CDの汚れがひどい。クリーニングする。(56ページ)</li><li>• レンズに露(水滴)がついている CDを取り出してCDぶたを開けたまま1時間くらい置く。</li></ul>
CD部 音がとぶ。	<ul style="list-style-type: none"><li>• CDによっては音がとぶことがあります。音量を下げてください。</li><li>• CDの汚れがひどい クリーニングする。(56ページ)</li><li>• CDに大きな傷がある CDを取り換える。</li><li>• 振動のない場所に置く。</li></ul>
MDが途中で取り出せない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• いったんMDを押し込んでから▲MD EJECTボタンを押して取り出す。</li></ul>
「Disc Error」が表示され、操作を受け付けない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• MDが汚れているか損傷している 新しいIMDと交換する。</li></ul>
MD部 再生できない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• レンズに露(水滴)がついている MDを取り出して数時間置く。</li><li>• MDを入れる方向が違う MDを矢印の向きに入れる。</li><li>• 何も録音されていないIMDが入っている 録音済みのMDと交換する。</li></ul>

症状	チェック項目
録音できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• MDが誤消去防止状態になっている。(「Protected」が表示されている) MDの誤消去防止つまみを戻して穴を閉じる。</li> <li>• その曲が誤消去防止状態になっている。(「Trk Protect」が表示されている) →誤消去防止状態にしたMDレコーダーで解除する。</li> <li>• 音源と正しく接続されていない。 接続し直す。</li> <li>• 再生専用MDが入っている 録音用MDと交換する。</li> <li>• MDの録音できる残り時間が足りない 不要な曲を消すか、別のMDと交換する。</li> <li>• 録音中や「TOC EDIT」表示中に停電があった、または電源コードが抜かれた。 初めから録音し直す。</li> </ul>
録音した音がとぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 録音したときの音量が大きかった。 音量を下げたて録音する。</li> </ul>
ステレオにならない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本体上面のMONO/STボタンを押して、「Stereo」を表示させる。(15ページ)</li> <li>• ステレオ放送のときのみステレオで聞くことができます。</li> </ul>
雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ステレオ放送を受信しているときは、受信状態によっては雑音が多くなります。(15ページ)</li> <li>• テレビの近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入ることがあります。また、室内アンテナを使用しているテレビの近くで、本機でFM放送を聞くと、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。</li> <li>• AM放送受信時にリモコンで操作すると、雑音が入ることがあります。</li> <li>• このラジオ(チューナー)のテレビ音声回路はFM放送の受信回路と兼用になっています。このため一部の地域ではテレビ2または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。その場合にはお近くのサービス窓口にご相談ください。</li> <li>• AMループアンテナを本体の近くに置いて使うと雑音が入ることがあります。特に録音のときに入りやすいので、アンテナを本体から離してください。</li> </ul>

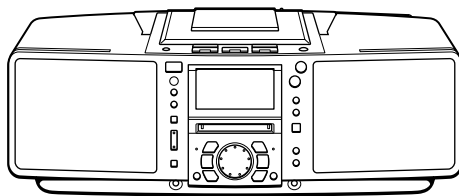
M  
D  
部

ラ  
ジ  
オ  
部

## 故障かな?と思ったら(つづき)

症状	チェック項目
タイマー(時計)部 タイマーが働かない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 時計を正しい時刻に合わせる。(45ページ)</li><li>• 停電があった。</li><li>• 「TIMER REC」または「TIMER PLAY」表示が出ていることを確認する。</li><li>• タイマーの開始時刻と終了時刻が同じになっている。設定時刻を合わせ直す。</li></ul>
リモコン リモコンで操作ができない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• リモコンの電池が消耗していたら、新しいものと交換する。(53ページ)</li><li>• リモコンを本体へ向けて操作する。</li><li>• 本体とリモコンの間に障害物があったら、取り除く。</li><li>• 本体リモコン受光部に強い光(直射日光や高周波点灯の蛍光灯など)が当たっていたら、当たらないようにする。</li></ul>

本機はマイコンを使用し、各連係動作を行っています。そのため、電源事情その他により、動作が不安定になることがあります。上記のチェック項目を確認しても動作が正常でないときは、本体底面にあるRESETボタンを先のとがったもので押してください(時計やタイマーがお買い上げ時の設定になりますので、必要に応じて設定し直してください)。それでもまだ正しく動かないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご連絡ください。



RESETボタン(底面)

# エラーメッセージ一覧

MDやCDを使用中、状況によって英語のメッセージを表示します。意味は以下の通りです。

メッセージ	意味
Blank Disc	何も録音されていない録音用MDが入っている。
Cannot Edit	MDの1曲目でコンバイン機能を使おうとした。
Disc Error	異常なMD( 損傷している、録音や編集の内容などの情報が入っていない )が入っている。
Disc Full	MDの残り時間が少ないため、録音できない。曲がいっぱいでこれ以上録音、編集できない。「MDのシステム上の制約について」(62ペ - ジ)
Name Full	記憶済みの曲名、ディスク名がいっぱいで入力できない。曲名やディスク名はそれぞれ100文字まで入力できる。1枚のディスクには、アルファベット/数字/記号で最大約1700文字、カタカナのみで最大約800文字まで入力できる。
No Disc	MDまたはCDが入っていない。
No MD	MDが入っていない。( シンクロ録音などの場合 )
PB Disc	再生専用ディスクが入っている。
Protected	MDが誤消去防止状態になっている。
Sorry	MDのシステム上の制約により、編集することはできません。( 62ページ )
Trk Protect	他のMDレコーダーでトラックプロテクト( 曲の誤消去、編集防止機能 )をかけた曲を録音や編集しようとした。
No Text	CDテキスト対応のCDの中で、テキスト情報の入っていない曲を選んだ。

# MDのシステム上の制約について

MD(ミニディスク)システムは、従来のカセットやDATとは異なる方式で録音が行われます。そのため、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

最大録音時間(60分、74分)に達していても、「Disc Full」が表示される。

254曲録音されるとそれ以上の録音はできません。さらに曲を追加するには、不要な曲を消して録音してください。

曲数にも録音時間にも余裕があるのに「Disc Full」表示される。

同じディスクで録音、消去を繰り返すと、1曲のデータが連続して記録されず、空いているところに分割して記録されることがあります。ミニディスクは、このような場合でも離れたデータをすばやく探し出し、順に再生します。ただし、分割したそれぞれのデータは、曲の区切り(1曲)と同じ扱いになり254曲になると、録音できなくなります。

さらに曲を追加するには、不要な曲を消して録音してください。

曲を消しても、ディスクの録音できる残り時間が増えない

ディスクの録音できる残り時間を表示するとき、12秒以下の部分は無視します。このため、短い曲を何曲消しても録音できる残り時間が増えないことがあります。

曲をつなげない。

つなごうとする曲のデータがディスク上に分散しており、それぞれのデータの長さが12秒以下のとき、その曲の曲番を消して前の曲をつなぐことはできません。

ディスクに録音した時間と残りの時間の合計が、最大録音可能時間(60分、74分)に一致しない場合がある。

通常、録音は約2秒を最小単位としてディスクに記録します。録音を止めたところでは、記録の最後の部分を実際には2秒に満たない場合でも2秒分のスペースを使います。また、録音を止めたあとまた録音を始めるときは、録音を始めたところで約2秒分のスペースを空けて記録を始めます。これは、録音を始めるときに誤って前の曲を消さないためです。このため、実際に録音できる時間は録音を止めるたびに、最大録音可能時間よりも最大6秒短くなります。

編集した曲を再生、または再生しながら早送り、早戻しするときに音が途切れることがある。

短い曲がディスクの上のいろいろなところに点在していると、探すのに時間がかかり、音がとぎれることがあります。

## デジタルオーディオソフトをコピーするときのルールについて(シリアルコピーマネージメントシステム)

デジタルオーディオとは、音声信号を数値(デジタル)でやりとりするオーディオ機器です。コンパクトディスク(CD)、ミニディスク(MD)、デジタルオーディオテープ(DAT)などがこれにあたります。

これらは音楽を手軽に、ほとんど劣化なしでコピーできます。このため、音楽ソフトの著作権を保護するコピー規制が必要になりました。「シリアルコピーマネージメントシステム」です。

本機の設計はこのシステムに準拠していません。概要は以下の通りです。

デジタル信号同士のコピー\*は1世代まで

### 原則1

市販のデジタル音楽ソフトのコピーは作れるが、コピーのコピーは作れない。

### 原則2

市販のアナログ音楽ソフト(アナログレコードやミュージックカセットテープ)や公共放送を録音したもののコピーは作れるが、コピーのコピーは作れない。

MDプレーヤーのアナログ出力端子同士をつないで録音した場合のように、デジタル信号をアナログ信号にして録音した場合はこの原則に当たりません。

\* コピーとはここでは「デジタル信号をデジタル信号のまま録音したもの」を指します。  
本機では録音中表示窓に「DIGITAL REC」が表示されます。

# 保証書とアフターサービス

## 保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

## アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルミニディスクシステムの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店が、サービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

# 主な仕様

## CDプレーヤー部

型式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
チャンネル数	2チャンネル
ワウフラッター	測定限界以下(EIAJ*)
周波数特性	20~20,000Hz+1/-2dB (EIAJ)

## ラジオ部

受信周波数 FM/TV:76~108MHz (1、2、3CH)

AM: 531~1,629kHz

アンテナ FM/TV: ロッドアンテナ  
外部アンテナ端子 (75 不平衡型)

AM: AMループアンテナ

## MDプレーヤー・共通部

型式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
ディスク	ミニディスク
記録方式	磁界変調オーバーライト方式
再生読み取り方式	非接触光学読み取り(半導体レーザー使用)
レーザー	半導体レーザー (λ=785nm)
録音再生時間	最大74分(MDW-74使用時)
回転数	約400rpm~900rpm (CLV)
エラー訂正方式	アドバンスドクロスインターリーブリード ソロモンコード(ACIRC)
サンプリング周波数	44.1kHz
コーディング	アダプティブトランスフォーム アコースティックコーディング(ATRAC)
変調方式	EFM
チャンネル数	ステレオ2チャンネル
周波数特性	20~20,000Hz+1/-2dB



ワウ・フラッター	測定限界以下
入力端子	LINE IN(ステレオミニ ジャック)1個 最小入力レベル 436mV/870mV
出力端子	ヘッドホン(ステレオミニ ジャック)1個 負荷インピーダンス 32
実用最大出力 スピーカー	7W + 7W( EIAJ* / 4 ) フルレンジ: 8cm、コーン型 4、2個
電源	本体 家庭用電源( AC100V 50/60Hz ) メモリー用 単3形乾電池 3個使用 ( DC4.5V ) リモコン部 単3形乾電池 2個使用 ( DC3V )
消費電力	36W
最大外形寸法	約450 × 164 × 239.4mm ( 幅 × 高さ × 奥行き ) ( 最大突起部を含む )( EIAJ )
質量	約6kg
付属品	リモコン (1) リモコン用単3形乾電池 (2) AMループアンテナ (1) 電源コード (1) 取扱説明書 (1) ソニーご相談窓口のご案内 (1) 保証書 (1)

#### 別売りアクセサリ

ステレオヘッドホン	MDR-CD370、MDR-D52 MDR-IF520RK
CDクリーニングキット	CDM-3K
オーディオ接続コード	RK-G129、RK-G136
録音用MD(生ディスク)	74分用/60分用: ベーシックシリーズ プリズムシリーズ カラーコレクション シリーズ ES シリーズ
MDファイリングボックス	CK-MD10

本機は、ドルビーラボラトリーズライセンス  
ングコーポレーションの米国及び外国特許に基づ  
く許諾製品です。

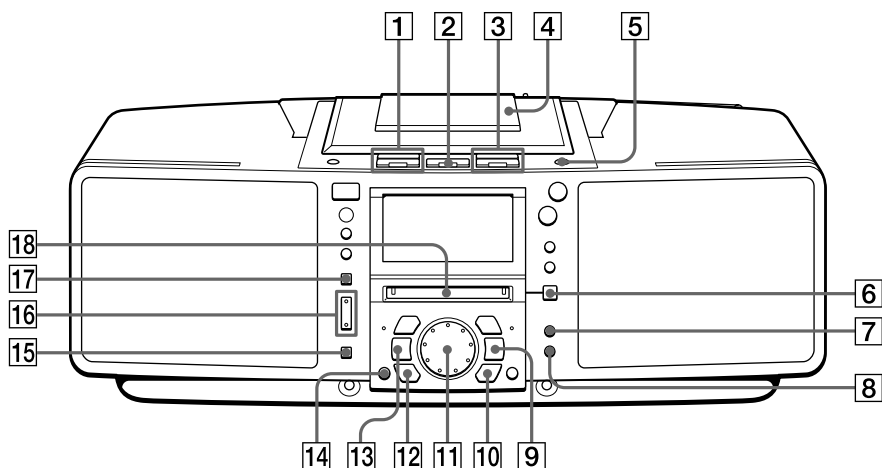
本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更  
することがありますが、ご了承ください。

\* EIAJ(日本電子機器工業会)規格による設定値で  
す。

# 各部のなまえ

くわしい説明は( )内のページをご覧ください。

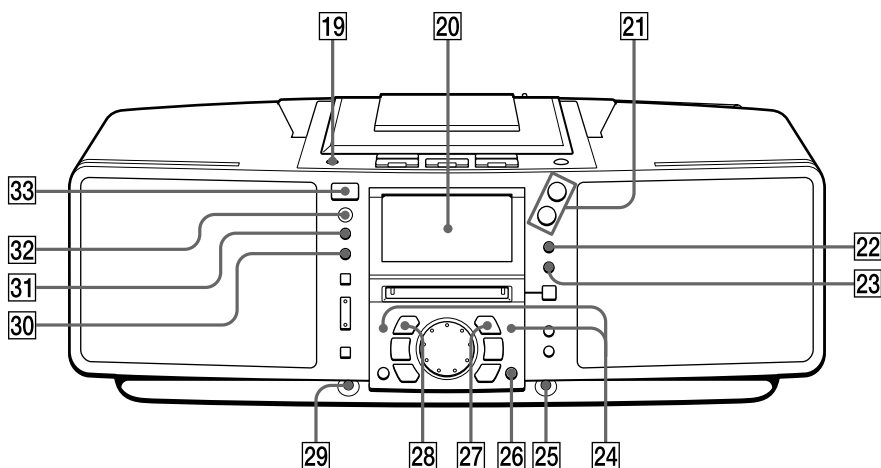
前面：MD/CD/ラジオ部



前面：MD/CD/ラジオ部

- |  |   |
|--|---|
| <p><b>1</b> MD操作ボタン<br/>▶▶ (再生 / 一時停止) (12、13)<br/>■ (停止) (12、13)</p> <p><b>2</b> BANDボタン (14、24)</p> <p><b>3</b> CD操作ボタン<br/>▶▶ (再生 / 一時停止) (8、9)<br/>■ (停止) (8、9)</p> <p><b>4</b> CDふた(8)</p> <p><b>5</b> ▲ CD OPEN/CLOSEボタン(8)</p> <p><b>6</b> ▲ MD EJECTボタン (13)</p> <p><b>7</b> MONO/ST•REPEAT (繰り返し演奏) ボタン(15、20)</p> <p><b>8</b> AUTO PRESET•SHUF/PGMボタン (21、23、24)</p> <p><b>9</b> TUNE +、⇄ (送り) ▶▶ (サーチ) ボタン (14、19、42)</p> | <p><b>10</b> イエス エンター YES•ENTER (決定) ボタン (36、38など)</p> <p><b>11</b> ジョグダイヤル(9、21、24、40など)<br/>◀◀/▶▶ AMS (選曲) (9)<br/>プリセット PRESET (24)</p> <p><b>12</b> ノー キャンセル NO•CANCEL (取消し) ボタン (36、38 など)</p> <p><b>13</b> チューン TUNE -、⇄ (戻し) ◀◀ (サーチ) ボタン (14、19、42)</p> <p><b>14</b> エディット EDIT ボタン (36~41)</p> <p><b>15</b> レコーディング REC ボタン (32、33)</p> <p><b>16</b> レックイット REC IT ボタン:<br/>トゥー トップ トゥー エンド TO TOP (29)、TO END (29)</p> <p><b>17</b> シンクロ レコーディング SYNCHRO REC CD▶▶ MD (11、31)</p> <p><b>18</b> MD挿入部 (10、12)</p> |
|--|---|

本体前面：タイマー・共通部



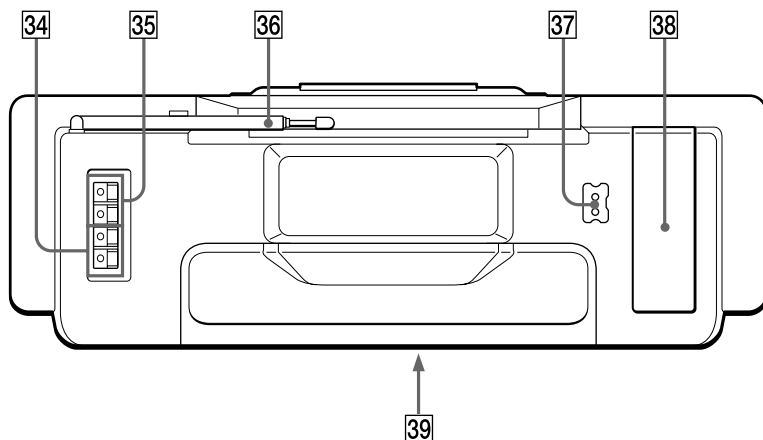
本体前面：タイマー・共通部

- 19 ライン LINE/LINE LEVELボタン(54)
- 20 表示窓 (16、17)
- 21 ボリューム VOLUME(音量)、+ボタン (9、13、15)
- 22 バス BASS/TREBLEボタン (55)
- 23 メガ MEGA BASSボタン(55)
- 24 ジョグダイヤル機能ランプ  
現在ジョグダイヤルがどんな働きをしているのかを示します。
- AMS/PRESETランプ：  
CDやMDのAMS、ラジオのプリセット番号を選ぶ働きをしているときに点灯します。
- SELECTランプ：  
MD編集のときや、時計・タイマー機能に使われているときに点灯します。
- 25 ライン LINE IN(アナログ入力)端子(54)
- 26 ディスプレイ DISPLAYボタン (16、42)
- 27 インサート INSERT(挿入)・タイマー TIMERボタン (44、46)
- 28 デリート DELETE(削除)・クロック CLOCKボタン (42、45)
- 29  $\odot$ (ヘッドホン)ジャック(ステレオミニジャック)
- 30 スタンバイ STANDBYボタン (47、49)
- 31 スリープ SLEEPボタン (50)
- 32 リモコン受光部
- 33 パワー POWER(電源)ボタン (9、11、13、15)

次のページへつづく

## 各部のなまえ(つづき)

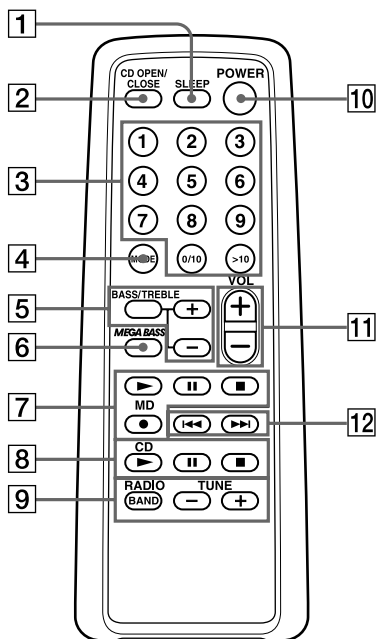
本体後面



本体後面

- 34 AM ANTENNA(AMアンテナ)端子  
アンテナ  
(52、53)
- 35 FM EXT ANTENNA(FM外部アンテナ)  
エクステナ アンテナ  
端子 (53)
- 36 FM/TV(1-3CH)用ロッドアンテナ(15)  
テレビ
- 37 AC IN ~ ジャック(52)
- 38 メモリー用乾電池収納部(51)
- 39 RESETボタン(底面)(60)  
リセット

## リモコン



## リモコン

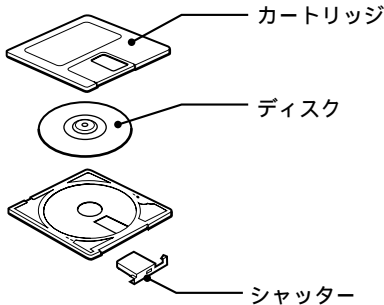
- |  |  |
|--|--|
| <p>1 <sup>スリープ</sup> SLEEPボタン (50)</p> <p>2 CD OPEN/CLOSEボタン(8)</p> <p>3 数字ボタン(19、21)</p> <p>4 <sup>モード</sup> MODEボタン(20、21、23)</p> <p>5 <sup>バス トレブル</sup> BASS/TREBLE、+、- ボタン (55)</p> <p>6 <sup>メガ ベース</sup> MEGA BASSボタン(55)</p> <p>7 MD操作ボタン</p> <p>▶ (再生) (12)</p> <p>⏸ (一時停止) (13)</p> <p>■ (停止) (13)</p> <p>● (録音) (32、33)</p> | <p>8 CD操作ボタン</p> <p>▶ (再生) (8)</p> <p>⏸ (一時停止) (9)</p> <p>■ (停止) (9)</p> <p>9 ラジオ操作ボタン</p> <p><sup>バンド</sup> BAND(14)</p> <p><sup>チューン</sup> TUNE -、+ (14)</p> <p>10 <sup>パワー</sup> POWER(電源)ボタン (9、11、13、15)</p> <p>11 <sup>ボリューム</sup> VOL(音量)+、-ボタン (9、13、15)</p> <p>12 ◀▶(AMS(選曲)/サーチ) ボタン(9、19)</p> |
|--|--|

# ミニディスクとは？

## 構造

直径64mmのディスクを68×72mm、厚さ5mmのカートリッジに収め、コンパクトな上に傷などを気にしなくてすむ手軽さを実現しています。

### ミニディスクの構造



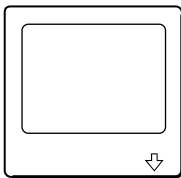
## ディスクの種類

ミニディスクには、再生専用のもと録音できるものと2種類あります。

### 再生専用ミニディスク

再生のみが可能なディスクで、市販のMDソフトはこのタイプです。CDと同様、ピット(小さなくぼみ)の有無で音楽データが記録されており、光学ピックアップで読み取って再生します。

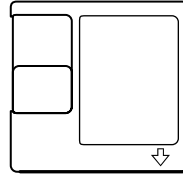
### 再生専用



### 録音用ミニディスク

録音もできるいわゆる「生ディスク」です。光磁気(MO: Magneto-Optical)ディスクを使用しており、レーザーと磁気で記録する磁界変調光学方式を採用しています。

### 録音用



## 特長

### 長時間録音

新開発の音声圧縮技術「ATRAC: Adaptive Transform Coding」を採用。このサイズでCDと同じ時間の録音を可能にしました。聴覚心理学に基づいて人の耳には聴こえない音をカットし、音楽データを約1/5に圧縮します。

### 素早い選曲、編集

CDと同様、ディスクならではの選曲性のよさに加え、音楽以外に曲番、演奏時間などのデータを同時に記録することにより、録音用ミニディスクでの瞬時の編集を可能にしました。

### 耐震性が向上

新開発の耐震技術「音とびガードメモリー」を採用。これにより従来の光・光磁気ディスクの「振動に弱く音とびしやすい」という弱点を気にする必要がなくなりました。

# 索引

## 五十音順

ア行	
頭出し	
CD	9
MD	13
イレース機能	36
エラーメッセージ	61
オートプリセット	24
お手入れ	56
カ行	
繰り返し聞く	20
コンバイン機能	39
サ行	
サーチ	19
再生時間を調べる	
CD	16
MD	17
再生する	
CD	8
MD	12
シャッフル再生	23
重低音	55
自動選局	14
シリアルコピーマネージメント	
システム	63
シンクロ録音	10、30
接続	
アンテナ	52
電源コード	52
他の機器	54
選曲	19

タ、ナ行	
タイマー	
スリープ	50
目覚まし	46
留守録音	48
調節する	
音量	9
低音 / 高音	55
ディバイド機能	38
デモモード	58
電源	51
時計を合わせる	45
ネーム機能	41

ハ行	
表示窓	
CD	16
MD	17
プリセット選局	28
プログラム再生	21
放送局を記憶させる	24
編集	
曲名を付ける	41
曲を移動する	40
曲を消す	36
曲をつなぐ	39
曲を分ける	38
ディスク名を付ける	41
ポジションポインター	9、11

マ、ヤ行	
マニュアル選局	14
ミニディスク	70
ムーブ機能	40

ラ行	
ラジオ	14、24、28
リピート再生	20
録音	
CD	10、30、32、34
接続した機器	54
ラジオ	32

## アルファベット順

ATRAC	70
CDテキスト	18、41
CDの取り扱い	56
COMBINE機能	39
DIVIDE機能	38
ERASE機能	36
MDの取り扱い	57
MDの編集	36~44
MEGA BASS	55
MOVE機能	40
NAME機能	41
REC IT録音	29

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様相談センターへ

●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)6539-5111

Printed in Malaysia

Sony  line <http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。